

港南区防災ライセンスリーダーの手引書

地域防災力の向上を目指して



2023年(令和5年) 改訂版

港南区防災ライセンスリーダー連絡会



現在位置 [トップページ](#) > [港南区](#) > [暮らし・総合](#) > [防災・防犯](#) > [防災・災害](#) > 港南区防災ライセンスリーダー連絡会

港南区防災ライセンスリーダー連絡会

最終更新日 2022年12月12日

印刷する

防災ライセンスリーダーとは

横浜市では、身近な小中学校などを地域防災拠点に定め、被災した住民の避難生活の場所や、住民による救助・救護活動の拠点と位置付けています。

この地域防災拠点の開設・運営を担う中核的人材として、「生活資機材」や「救助資機材」の取り扱いについて学ぶ、資機材取扱講習受講者を、資機材取扱いリーダー（防災ライセンスリーダー）として認定しています。

防災ライセンス取得については下記ページよりご確認ください。

[資機材取扱講習の受講者募集について（横浜市ホームページ）](#)

港南区防災ライセンスリーダー連絡会とは

港南区防災ライセンスリーダー連絡会（KBR）は港南区内在住の「横浜防災ライセンスリーダー」で組織しており、会員相互の知識・技術の向上や防災ライセンスリーダーと区内地域防災拠点等との連携強化を図ることを目的に結成された団体です。

- 1 会員相互の知識と技術の向上
フォローアップ講習会の開催
総会での情報提供

港南区防災ライセンスリーダーの手引書

目次

1. はじめに	4
2. 防災ライセンスリーダーの誓い	4
3. 港南区防災ライセンスリーダー連絡会	5
4. 港南区について	6
5. 港南区の町名	8
6. 地域防災拠点校、その他(大学・高等学校・特別支援学校)	9
7. 港南区防災ライセンスリーダー連絡会地域防災拠点別会員数	10
8. 防災ライセンスリーダーの安全心得	10
9. 防災備蓄庫・備蓄品について	15
10. 生活資機材、救助資機材の取り扱い	20
11. 港南区防災ライセンスリーダー連絡会ステッカー	20
12. 避難生活に必要な資機材の取り扱いのポイントと注意事項	21
13. 救助・救護に必要な資機材の取り扱いのポイントと注意事項	44
14. その他(資料)	60
1) 地域防災拠点のトイレ対策	
2) 災害時のトイレは大丈夫?	
3) トイレパックの使い方	
4) トイレを使用する際の注意点	
5) 災害時給水所	
6) 災害時給水マップ(港南区)	
7) 災害に備えて飲料水を備蓄していますか?	
8) 港南区の人口	
9) 港南区防災ライセンスリーダー連絡会会則	

1.はじめに

会員の皆様へ「防災ライセンスリーダーの手引き書」を配布して3年経過しました。この間新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行で我々の活動が制限されましたが、いつ起こるか分からない大地震への備えは必要不可欠です。

我々防災ライセンスリーダーは、地域防災拠点での防災活動に参画し、資機材の取り扱いを通じて、地域の防災力の向上に努めることが責務です。

新しい資機材が導入されたので、この手引書を最新版へ改訂しました。どうぞご活用ください。

2023年(令和5年)3月
防災ライセンスリーダー連絡会
役員会一同

2.港南区防災ライセンスリーダーの誓い

- ・私たちは、会員相互の連携・協力により、会員の資機材取扱技術の維持及び向上を図ります。
- ・私たちは、地域防災拠点・自治会町内会をはじめとする様々な防災・減災活動に協力することにより、地域防災力の向上に寄与します。

制定：平成30年6月27日

3.港南区防災ライセンスリーダー連絡会

港南区防災ライセンスリーダー連絡会は、横浜防災ライセンス資機材取扱講習を修了した港南区在住者で、連絡会の目的に賛同する者をもって2014年(平成26年)1月31日に設立されました。

会員相互の連携・協力により、資機材取扱技術の維持及び向上を図るとともに、地域防災拠点・自治会町内会をはじめとする様々な地域防災・減災活動に協力することにより、地域防災力の向上に寄与することを目的として活動しています。

横浜防災ライセンス 資機材取扱講習会について
【資機材取扱リーダー】

- ①「生活資機材取扱リーダー」※ 避難生活に必要な資機材が取り扱えるリーダー
※ 仮設トイレ、移動式炊飯器、応急給水栓(災害用地下給水タンク)、簡易給水栓
 - ②「救助資機材取扱リーダー」※ 救助活動に必要な資機材が取り扱えるリーダー
※ エンジンカッター、レスキュージャッキ、発電機、投光器、簡易担架、工具類
- それぞれ半日単位の講習会を受講された方を、資機材取扱リーダーとして認定しています。
(リーダー証を発行し、リーダー名簿に登載されています。)

主な内容は下記の通りです。

1. 目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 会員相互の知識と技術の向上
- (2) 地域防災拠点・自治会町内会をはじめとする地域との連携、防災・減災活動への協力及び支援
- (3) ライセンスリーダー増員のための啓発活動
- (4) その他、連絡会の目的達成のために必要な活動

2. 役員及び顧問

会長:1名、副会長:2名、幹事:若干名、相談役:若干名、顧問:若干名

3. 会議

会議は、総会、役員会、その他必要な会議。

4. 個人情報と会員名簿

個人情報は、会員の氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスとし、連絡会の目的を達成するために情報を共有するために作成しています。

* 詳細は、港南区防災ライセンスリーダー連絡会会則をご覧ください。

4.港南区について

港南区は、1969年(昭和44年)10月1日、行政区再編により南区から分区して誕生しました。

港南区の地形は、大岡川と、柏尾川の支流である平戸永谷川の上流の谷と台地が細かく入り組んでいます。そして、区を南北に貫くように旧武蔵の国と相模の国を分ける国境(くにざかい)の道が通っています。この道は鎌倉へ通じる道として、古来重要な役割を果たしてきた鎌倉街道です。また、東側の日野川・大岡川は東京湾へ、西側の平戸永谷川は相模湾へ注いでいます。

港南区の北東を京浜急行本線が通り、また北東から中央部にかけて横浜市営地下鉄ブルーラインが通り、さらに南にはJR根岸線が通っている。

区の中央部には横浜横須賀道路が縦断しており、鎌倉街道との交点に日野インターチェンジ、環状3号の交点に港南台インターチェンジがそれぞれ設けられている。区の南北には鎌倉街道、東から北にかけて環状2号、南には環状3号が通っている。商業地は主に上大岡駅周辺と港南台駅周辺で、区役所や警察署など官公庁は港南中央駅周辺に集中している。特に上大岡駅周辺地区は、横浜市における主要な生活拠点に位謹付けられています。

港南区は、横浜市の南部に位謹し、面積は19.90平方キロメートル(横浜市の面積の約4.6パーセント)、東西に5.1キロメートル、南北に6.6キロメートルにわたって広がっており、東は磯子区、西は戸塚区、南は栄区、北は南区に隣接しています。

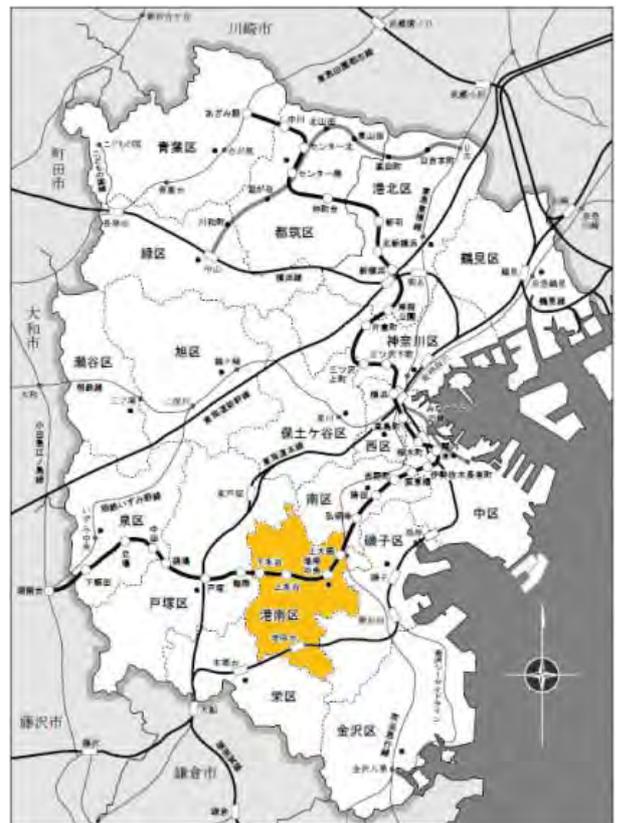
- ・ 総人口:21万5248人(令和2年10月1日)
- ・ 隣接自治体:(南区、磯子区、戸塚区、栄)
- ・ 区の木:クロガネモチ
- ・ 区の花:ヒマワリ
- ・ 区の鳥:シジュウカラ

愛から咲くひまわり。花びら一つが人であり、愛を囲むように円になり花となる。

支え合う心を表しています。※ひまわりは、港南区制10周年を記念して制定した区の花です。



港南区は2019年10月に区制50周年



港南区の主な出来事は以下のようになっています。

江戸時代までは武蔵国久良岐郡久保村、最戸村、上大岡村、笹下村、日野村と相模国鎌倉郡永谷村、上野庭村、下野庭村、平戸村(一部:飛び地)であった。

- ・ 1889年4月1日 市制・町村制施行に伴ういわゆる「明治の大合併」で、久良岐郡大岡川村と日下村、鎌倉郡永野村が成立。
- ・ 1927年4月1日 久良岐郡大岡川村と日下村が横浜市に編入される。
- ・ 1927年10月1日 中区に編入される。
- ・ 1930年4月1日 湘南電気鉄道(現在の京急本線)黄金町ー浦賀間開通。上大岡駅開業。
- ・ 1936年10月1日 鎌倉郡永野村が横浜市中区に編入される。
- ・ 1943年12月1日 戦時配給制度の手続の軽減を図るため、中区の寿警察署・大岡警察署管内の地区を南区に分区。
- ・ 1947年5月1日横浜市立港南中学校が開校。
一説に、横浜市内における公的名称に「港南」が使われた初出という。
- ・ 1950年12月1日 南区役所港南出張所が開設される。
- ・ 1954年4月 横浜市立南高等学校開校。
- ・ 1964年11月1日 港南出張所が港南支所になる。
- ・ 1969年10月1日 行政区再編成に伴い港南支所管内を南区から分区し、港南区が発足。
- ・ 1970年5月 区の人口が10万人を突破する。
- ・ 1971年10月 港南区総合庁舎落成。
- ・ 1972年12月16日 市営地下鉄1号線(ブルーライン)伊勢佐木長者町ー上大岡間開通。

- ・ 1973年4月9日 国鉄(現在のJR)根岸線洋光台ー大船間開通。港南台駅開業。
- ・ 1973年4月 神奈川県立港南台高等学校開校。
- ・ 1976年9月4日 市営地下鉄1号線上大岡ー上永谷間開通。港南中央駅・上永谷駅開業。
- ・ 1978年6月 横浜港南メディカルセンター完成。
- ・ 1984年6月 区の人口が20万人を突破する。
- ・ 1985年3月14日 市営地下鉄1号線上永谷ー舞岡間開通。下永谷駅開業。
- ・ 1986年4月 神奈川県立永谷高等学校開校。
- ・ 2003年4月 神奈川県立野庭高等学校と神奈川県立日野高等学校が統合され、神奈川県立横浜南陵高等学校となる。
- ・ 2014年4月10日 定時制高校の神奈川県立横浜明朋高等学校が開校。
- ・ 2017年3月 現港南区総合庁舎の東側に建設していた新庁舎が完成し移転。
- ・ 2021年5月 港南公会堂完成。

港南区は2019年10月に区制50周年

5. 港南区の町名(1)

港南区の町名は、大久保、上永谷、芹が谷など谷戸や谷に因(ちな)む町名が多く付けられています。詳細は港南区ホームページの町名の由来をご覧ください。



港南区の町名(2)



参考資料：港南区ホームページより

6. 地域防災拠点校、その他(大学・高等学校・特別支援学校)

地域防災拠点校

中学校(10)地域防災拠点校

- ・横浜市立丸山台中学校
- ・横浜市立港南台第一中学校
- ・横浜市立笹下中学校
- ・横浜市立東永谷中学校
- ・横浜市立日野南中学校
- ・横浜市立芹が谷中学校
- ・横浜市立港南中学校
- ・横浜市立上永谷中学校
- ・横浜市立日限山中学校
- ・横浜市立旧野庭中学校

小学校(21)地域防災拠点校

- ・横浜市立永谷小学校
- ・横浜市立下永谷小学校
- ・横浜市立丸山台小学校
- ・横浜市立芹が谷小学校
- ・横浜市立港南台第一小学校
- ・横浜市立港南台第三小学校
- ・横浜市立小坪小学校
- ・横浜市立相武山小学校
- ・横浜市立日下小学校
- ・横浜市立日野小学校
- ・横浜市立野庭すずかけ小学校
- ・横浜市立永野小学校
- ・横浜市立下野庭小学校
- ・横浜市立吉原小学校
- ・横浜市立芹が谷南小学校
- ・横浜市立港南台第二小学校
- ・横浜市立桜岡小学校
- ・横浜市立上大岡小学校
- ・横浜市立南台小学校
- ・横浜市立日限山小学校
- ・横浜市立日野南小学校

その他

- ・横浜女子短期大学
- ・神奈川県立永谷高等学校 ・ 神奈川県立横浜南陵高等学校
- ・神奈川県立横浜明朋高等学校 ・ 横浜市立南高等学校、南高等学校附属中学校
- ・港南台高等学院
- ・横浜市立日野中央高等特別支援学校 ・ 横浜市立港南台ひの特別支援学校



7. 港南区防災ライセンスリーダー連絡会 地域防災拠点会員数

	地域防災拠点名	人数		地域防災拠点名	人数
1	上大岡小学校		17	日野小学校	
2	港南台第一小学校		18	日野南小学校	
3	港南台第二小学校		19	丸山台小学校	
4	港南台第三小学校		20	丸山台中学校	
5	小坪小学校		21	南台小学校	
6	桜岡小学校		22	吉原小学校	
7	下永谷小学校		23	上永谷中学校	
8	下野庭小学校		24	港南中学校	
9	芹が谷小学校		25	港南台第一中学校	
10	芹が谷南小学校		26	笹下中学校	
11	相武山小学校		27	芹が谷中学校	
12	永野小学校		28	旧野庭中学校	
13	永谷小学校		29	東永谷中学校	
14	野庭すずかけ小学校		30	日限山中学校	
15	日限山小学校		31	日野南中学校	
16	日下小学校		32	洋光台第三小学校	

8. 防災ライセンスリーダーの安全心得

- 1.安全の3原則(整理整頓・点検整備・標準作業)
- 2.防災ライセンスリーダーに求められること
- 3.資機材取扱い作業の安全心得
- 4.人間の五感が外部から受ける情報の割合
- 5.ヒューマンエラー9つの要因
- 6.指差し呼称で安全確認
- 7.「あいうえお」で安全作業
- 8.安全のABC

1.安全の3原則(整理整頓・点検整備・標準作業)

整理整頓・・・整理・整頓する。

「整理・整頓・清掃」がよく出来ている。＝「躰」が身についている。

点検整備・・・資機材の自主点検を怠らない。

「作業開始前に資機材・手工具・保護具などの点検を必ず行う」

標準作業・・・資機材取扱いの手順を守る。

「安全に作業を進めるための基本ルールです。」

- ・ 事故や災害の大部分を占めるのは、初心者の不慣れな作業と、逆に熟練者の過信による手抜きなどです。
- ・ 資機材取扱い作業では「安全の3原則」を実践して事故・災害を未然に防止しましょう。

2. 防災ライセンスリーダーに求められること

- (1) 作業指示は正確に ⇒ 本当に理解したか。
 - ・ 指示通り実施していることを確認しているか。
- (2) 安全作業手順の順守について、管理/周知徹底する。
 - ・ 勝手に変更することは許されない。
- (3) 作業中の安全確保 ⇒ 日々、作業環境は変化する
- (4) 基本ルールの徹底
 - ・ 不安全行動は指摘出来ているか、見過ごしてないか。
- (5) 作業する方の体調管理 ⇒ きめ細かな気配り
- (6) マンネリ防止
 - ・ 同じ作業でも周囲の状況でリスクは変わる。
 - ・ 抜けがあると思わなければリスクは見つからない。
- (7) 報告、連絡、相談
 - ・ 異常時、計画外が発生したら速やかに連絡すること。
 - ・ 対応が遅れるほど、おもわない影響を及ぼすことを認識すること。

3.資機材取扱い作業の安全心得

- (1) 作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐす。
- (2) 作業は安全第一を心がけ、急いだりあわてたりしない。
- (3) 衣服・履物は、作業にあった動き易いものにする。
- (4) 機械・器具は、使用前に必ず点検する。
- (5) 作業現場は、常に整理、整頓をする。
- (6) 自分の年齢、体調を十分認識し、無理をしない。
- (7) 共同作業では、合図・連絡を正確にする。
- (8) 重い物は、腰をおとし背筋を伸ばして持ち上げる。
- (9) 作業中の私語は、お互いの注意力を損なうのでつつしむ。

4.人間の五感が外部から受ける情報の割合

人間の情報処理の仕組みとしては、さまざまな情報を“人間の五感’で感じて脳に送られる。

人間が脳で受け止めた情報が正しく伝達されなかった場合、さまざまなミスやエラーが生じる。

その要因としては多くの要因があげられるが、これらがヒューマンエラーといわれるもので、災害発生原因の90%余りを占めるといわれています。これらの要因を把握し、なくすことが重要です。

「五感」とは、身体の日・耳・鼻・口・皮膚の五つの器官で感じる視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚のことです。

人間の五感による情報判断の割合

■視覚:87% ■聴覚: 7% ■触覚: 3% ■嗅覚:2% ■味覚:1%

5. ヒューマン(人間)エラー9つの要因

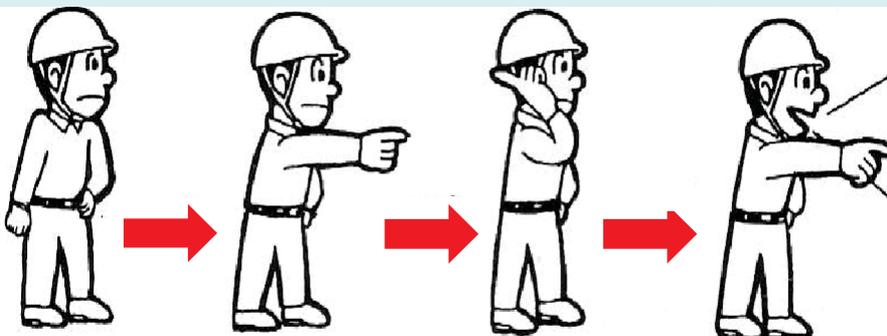
- (1) 危険軽視、慣れ
ついついといった動作やその集団特有の悪習慣から発生。
- (2) 近道本能、省略本能
動作・行動の簡素化によるエラー。
- (3) 無知、未熟練
生半可にしか知らなかったことなどによるエラー。
- (4) 単調反復動作による意識レベルの低下
単調な動作の繰り返しによる意識の低下に基づくエラー。
- (5) 錯覚
見間違いや聞き違い(外的要因)と、思い込などの間違い(内的要因)を含む。
- (6) 中高年齢者の機能低下
40才頃から自覚しないまま忍び寄る機能低下から生じるエラー。
- (7) 場面行動
一点に集中して周囲の状況が見えなくなることによる動作・行動のエラー。
- (8) 緊急時のあわて、パニック状態
非常な驚き、驚愕反応における動作、行動のエラー。
- (9) 疾病、疲労
急性中毒など平常時と異なる肉体的条件、および生まれつきの体質によるもの。

ヒューマン(人間)エラーが事故・災害の大半を占めています。

6. 指差し呼称で安全確認

指差し呼称は、自分の確認すべきことを腕を伸ばして対象をしっかりと指差し、はっきりした声で「〇〇ヨシ!」と呼称して確認することによって、作業を安全に、誤りなく進めていくために行う確認手法です。

- ① 対象を見る ② 指を差し ③ 耳元へ ④ 振り下ろす



人間の意識レベルを5段階のフェーズに分けた「**フェーズ理論**」によれば、対象を指で差し、声に出して確認する行動によって、意識レベルを「フェーズⅢ(脳が活発に動き、思考が前向きな状態)」に上げ、緊張感、集中力を高める効果をねらった行為とされています。

7.「あいうえお」で安全作業

あ=あいまいな 指示・返事をしない。キチンと相手に伝える。

い=急ぐことなく 近道をしないで手順はキチンと守る。

う=うっかりミスをしない。指差呼称により気を引き締めて作業に当たる。

え=遠慮しないで判らない事は聞く。

体調不良や何かおかしいなと思ったら遠慮しないで報告・連絡・相談をする。

お=思い込みによるミスをしない。

作業前にミーティング等で作業内容をキチンと把握して作業に当たる。

お互いを思いやる。コミュニケーションを良くして作業に当たる。

8.安全のABC

「安全のABC」は事故・災害を防ぐための「安全作業の基本」となるものです。

A = 当たり前のことを

日頃使う機械・工具について正しい知識を持って使用方法・その機械の危険性、日常の点検方法知っておくこと。

B = バカにしないで・ボンヤリしないで

使用方法などを知っていても、つい何気なく簡単な方法でやってしまったり、下準備もせずに機械を操作し災害に結びつくなど、注意力が散漫な状態を指します。

C = チャンとやる！

正しい使い方、手順で注意を払い意識して作業する！という意味です。

資機材の取扱いは「安全のABC」を守り、作業を無事に終了しましょう。

9.防災備蓄庫・備蓄品について

地域防災拠点の運営は、地域の方々によって設置された運営委員会によって運営することになっています。しかし、施設や備蓄品の管理は学校、区役所、総務局危機管理室で分かれています。

防災備蓄庫の種類

- ・校舎型 空き教室を利用(学校が管理) (7校)
- ・校地型 校庭等に防災備蓄庫を設置(危機管理室が管理) (24校)

備蓄品について

備蓄品は大きく分けて、

「食料・水」「生活用品」「救護用品」「救助用品」に分かれています。

備蓄品の更新は総務局危機管理室地域防災課が行いますが、区役所の備品となり、資機材の点検・修繕等は区役所で実施します。

食料・水・・・クラッカー、缶入り保存パン、おかゆ、スープ、粉ミルク・ほ乳瓶、
水(350ml缶)

例年、年度末に期限切れになる量を危機管理室が一括発注し、各地域防災拠点に納品。期限切れは回収する。

※期限切れの備蓄品を配付することはできません。

※粉ミルクの更新時は配付せずに全て回収となります。

備蓄品について

生活用品・・・おむつ、生理用品、トイレトーパー、

灯油式かまどセット(小学校)、ガスかまどセット(中学校)、毛布、テント、

アルミブランケット、トイレパック、LEDランタン、ラジオ、トランシーバーなど

救護用品・・・リヤカー、グランドシート、松葉杖など

救助用品・・・発電機、灯光器、エンジンカッター、油圧ジャッキ、担架、
はしごなど

その他・・・ビブス、多言語表示シート

さらに、各地域防災拠点運営委員会が独自に揃えた機材などもある。

防災備蓄庫の備蓄品

1. 主な救助・救護用品



エンジンカッター(2台)



ガソリン式発電機(3台) ガス式発電機(3台)



レスキュージャッキ(1台)



投光器(5台)

地域防災拠点の防災備蓄庫には、発災時の救助・救出活動や避難生活の維持等のため、これらの備蓄品を整備しています。



スコップ(5本)



金属梯子(1本)



救命ロープ(5本)



つるはし(5本)



大バール(5本)



てこ棒(5本)

地域防災拠点の防災備蓄庫には、発災時の救助・救出活動や避難生活の維持等のため、これらの備蓄品を整備しています。



掛矢(2本)



大ハンマー(5本)



大なた(5本)



のこぎり(5本)



ワイヤーカッター(5本)



担架(10本)

地域防災拠点の防災備蓄庫には、発災時の救助・救出活動や避難生活の維持等のため、これらの備蓄品を整備しています。



ポール(応急担架用) (10本)



ハンドマイク(2本)



ヘルメット(10個)



リヤカー(2台)



グラウンドシート(10枚)



松葉杖(5組)

地域防災拠点の防災備蓄庫には、発災時の救助・救出活動や避難生活の維持等のため、これらの備蓄品を整備しています。

2.主な生活用品



毛布(240枚)



保温用シート(150枚)



簡易トイレ便座(6基)
トイレパック(5000セット)



(拠点が中学校の場合)
ガスかまどセット(1セット)



(拠点が小学校の場合)
灯油式かまどセット(1セット)

地域防災拠点の防災備蓄庫には、発災時の救助・救出活動や避難生活の維持等のため、これらの備蓄品を整備しています。



高齢者用紙おむつ(210枚)
 乳幼児用紙おむつ(1350枚)
 生理用品(425個)
 トイレトーパー(192巻)

3.食料・水



クラッカー(1000食)
 保存パン(1000食)
 粉ミルク・ほ乳瓶(20セット)
 おかゆ(460食)
 水缶詰(2000缶)
 スープ(220食)

災害発生直後は、食料や日用品の購入が難しくなります。家族構成を考えて、必要な備蓄をしておきましょう。

また、すぐ取り出せるところに非常持出品を準備しておきましょう。備蓄する量の目安は最低3日分です。

飲料水:1人3日分で9ℓが目安です。(例)3人家族の場合 $3人 \times 9\ell = 27\ell$

食料品:クラッカーなど調理せずに食べられるもの、缶詰(缶切りが不要なもの)など

トイレパック:家庭のトイレなどに設置して使用する「凝固剤」と、「処理袋」のセットです。ホームセンターなどで購入できます。

10.生活資機材、救助資機材の取り扱い

1)生活資機材

- (1) 移動式炊飯器 (灯油式かまどセット、ガスかまどセット)
- (2) 災害用地下給水タンク
- (3) 受水槽を活用した飲料水の確保
- (4) 下水直結式仮設トイレ (災害用ハマッコトイレ)

2)救助資機材

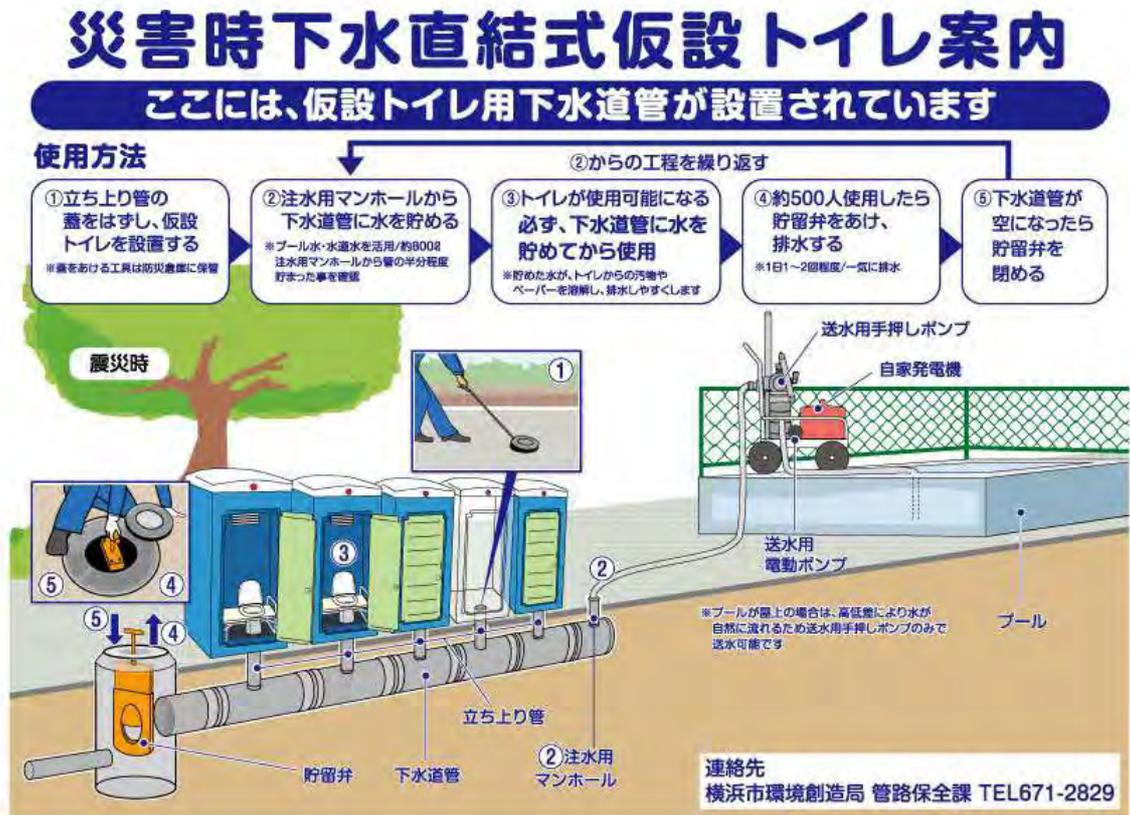
- (1) エンジンカッター
- (2) レスキュージャッキ
- (3) 発電機・投光器

詳細は生活資機材用テキスト、救助資機材用テキストでご確認ください。

11. 避難生活に必要な資機材の取り扱いのポイントと注意事項

災害時下水直結式仮設トイレについて

地震の影響で水洗トイレが使用不能となった場合でも、地域防災拠点などにおいて衛生的に使用できる仮設トイレです。



・下水直結式仮設トイレ 災害用ハマッコトイレ(洋式) 株式会社総合サービス製
総重量 通常型:約 38kg 車椅子対応型:約 44kg
配水方法 下水道直結

・下水直結式仮設トイレ 災害用ハマッコトイレ(洋式) 株式会社ニード製
総重量 通常型:約 47kg 車椅子対応型:約 63kg
配水方法 下水道直結

【備考】下水直結式仮設トイレの組み立ては、地域防災拠点によって組み立てる順番が異なる場合があります※。 ※上屋から組み立てる拠点・台座から組み立てる拠点

1. 下水直結式仮設トイレ ～ マンホール蓋の開け方 ～

- 1) 「災害用トイレ」とマンホール蓋に書かれているものを確認します。
マンホール蓋の開閉には専用のバールを使用します。
- 2) マンホール蓋開閉バールの先端をマンホールのロック部に水平に差し込み、マンホールの蓋を引き上げつつ、回転させ、マンホール蓋を地面に置きます。

- 3) マンホール蓋を開けると塩ビ製の内蓋を開け、仮設トイレを設置するためにマンホール蓋の蝶番を外し、枠から分離させます。
- 4) 次に注水口のマンホール蓋を開けます。仮設トイレの設置口と異なり「災害用トイレ」の文字は入っていません。開け方は、仮設トイレ設置口と同じです。

2. 下水直結式仮設トイレ ～ 給水ポンプの操作方法 ～

【横浜市で導入している給水ポンプ】

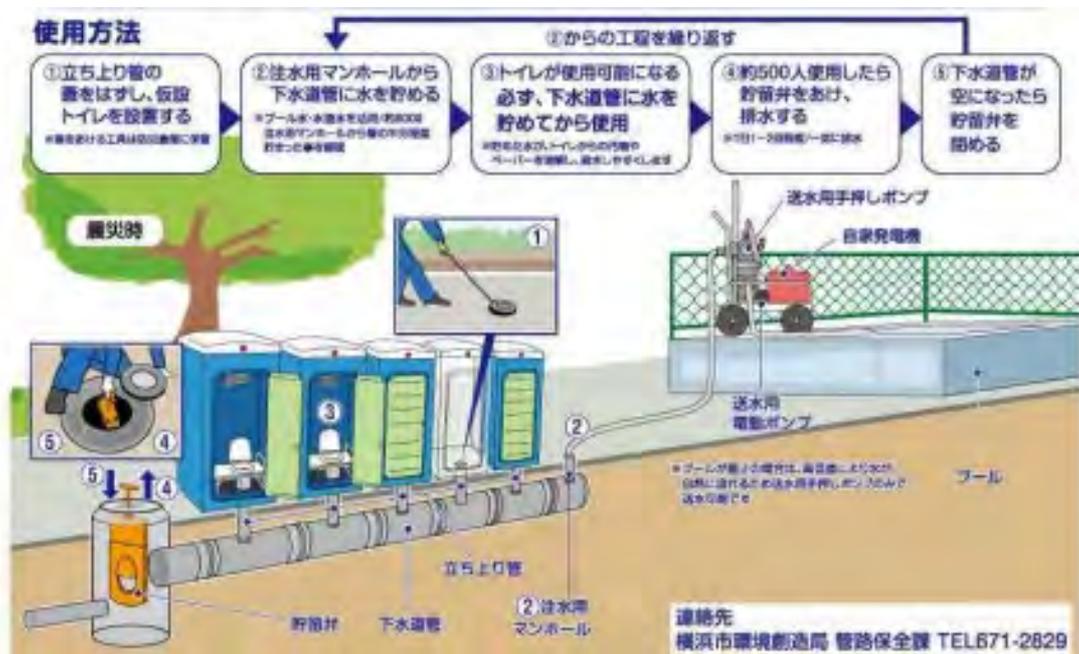
- 1) 地上型 (1) おかもとポンプ(株)製 (2) (株)川本製作所製
- 2) 屋上型 (1) おかもとポンプ(株)製 (2) (株)川本製作所製

詳細はテキストでご確認ください。

港南区災害用ハマッコトイレ整備状況

令和 4年度末時点 27箇所

- ・港南区役所
- ・永野(小) ・小坪(小) ・日野(小) ・上大岡(小) ・桜岡(小)
- ・日下(小) ・野庭すずかけ(小) ・下野庭(小) ・南台(小) ・港南台第二(小)
- ・丸山台(小) ・吉原(小) ・下永谷(小) ・日限山(小) ・相武山(小) ・芹が谷(小)
- ・港南台第一(小) ・日野南(小) ・永谷(小) ・港南台第三(小) ・芹が谷南(小)
- ・港南(中) ・旧野庭(中) ・笹下(中) ・港南台第一(中) ・芹が谷(中) ・日限山(中)



1. 下水直結式仮設トイレ～マンホールの開け方～

手順1 「災害用トイレ」とマンホール蓋に書かれているものを確認します。マンホール蓋の開閉には専用のパールを使用します。



手順2 マンホール蓋開閉パールの先端をマンホールのロック部に水平に差し込み、マンホールの蓋を引き上げつつ、回転させ、マンホール蓋を地面に置きます。



手順3 マンホール蓋を開けると塩ビ製の内蓋を開け、仮設トイレを設置するためにマンホール蓋の蝶番を外し、枠から分離させます。



2. 下水直結式仮設トイレ～給水ポンプの操作方法～

1) 地上型 おかもとポンプ(株)製

【1】 キャスターをロック



* 危険防止のため、安定した場所で送水作業を行ってください。

【2】 取水ホースの取付け



* 切替えバルブはハンドルを下に！
(手押しポンプ側の流路) ※ 取付け方は取扱説明書をご確認ください。

【3】 送水ホースの取付け(電動側)



* ホース取付け後、取水ホースを水源へ入れてください。 ※ 取付け方は取扱説明書をご確認ください。

【4】 電動ポンプへの呼び水-1



* 手押しポンプから水が出るまで運転し、取水ホース内の空気を抜いてください。

【5】 電動ポンプへの呼び水-2



* 呼び水バルブを開き、水があふれるまで給水してください。

【6】 切替えバルブの操作



* 切替えバルブのハンドルを横に！
(電動ポンプ側の流路)

[7] カセットポンペをセット



* 発電機の上部カバーを外し、カセットポンペをセットします。

[8] 発電機の始動-1



* 燃料コックを〈開〉、エンジンスイッチを〈始動〉の位置にします。

[9] 発電機の始動-2



* リコイルスターターグリップを引いて発電機を始動させてください。

[10] 電動ポンプの運転



* 発電機を2分ほど暖気運転し、電動ポンプのコンセントを発電機に差し込んでください。エンジンスイッチを〈運転〉にすると、電動ポンプによる送水が行われます。

※ 手押しポンプで送水を行う場合は、送水ホースを手押しポンプ吐出し口へ取り付けて運転してください。



2. 下水直結式仮設トイレ～給水ポンプの操作方法～

2) 地上型 (株)川本製作所製

1

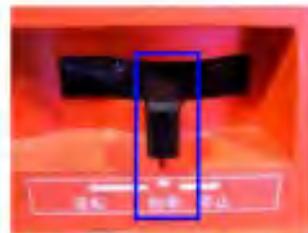
発電機にガスボンベを取り付けます。
この時、必ず2本ともセットして下さい。



切欠きがある部分を下にしてガスボンベを押し込み、
右に回転させて固定します。

2

燃料コックを「開」、エンジンスイッチを
「始動」の位置にします。



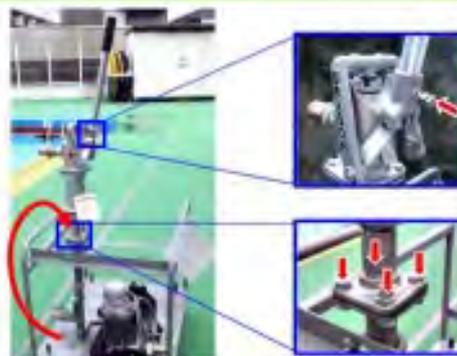
3

リコイルスターターグリップを引き、
発電機を始動させます。
電動ポンプを使用する前には
1～2分程の暖機運転をします。



4

台車に仮止めされている
手押しポンプの上部分を取り付けます。
ポンプのハンドルを取り付けます。



5

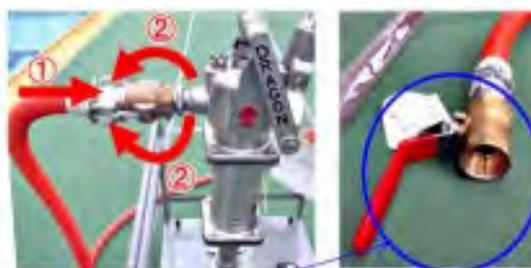
取水ホースを取り付けます。取り付けは、
ホースの固定金具を上にした状態で
①ホースをポンプに差し込み、
②金具を下げて固定します。



取水ホースはストレーナーがあるものです。

6

送水ホース同士を連結し、手押しポンプ
に取り付けます。送水ホースの
末端にある開閉バルブを開きます。



開閉バルブがあるホースが送水ホースの末端です。

- 7 切り替えバルブを下向きに、電動ポンプのバルブを横向きにします。

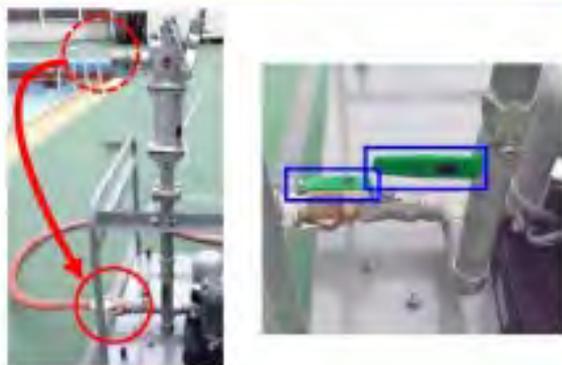


- 8 呼び水バルブを開き、注水を行います。注水後、バルブを閉め、手押しポンプを漕いで、取水ホースの空気を抜きます。



手押しポンプは、送水ホースに水がたまるまで漕ぎます。

- 9 送水ホースを、電動ポンプ側に付け直します。切り替えバルブを横向きに、電動ポンプのバルブを縦向きにします。



- 10 電動ポンプのコンセントを発電機に挿し、発電機のエンジンスイッチを「運転」にすると、送水が行われます。



- ! 送水がうまくいかない場合、手順⑨の後、電動ポンプの呼び水バルブを開き、電動ポンプ内に直接注水をした後、プラグを再度閉めて下さい。



- ! 雨天時は感電の恐れがありますので手押しポンプで送水してください。

- ! 送水を終了するときは、送水ホース先端のバルブを閉め、発電機のエンジンを停止にしてください。

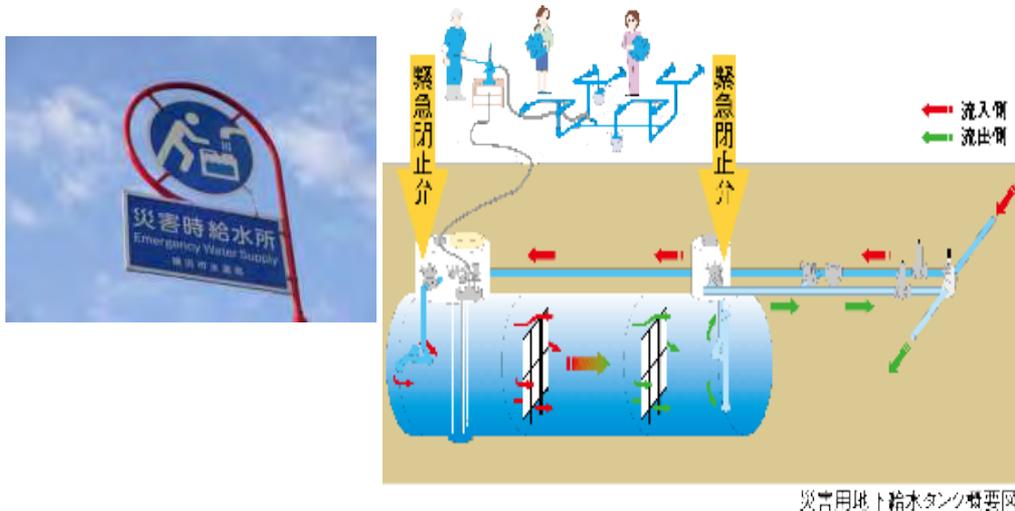
- ! 気温が低いと発電機が始動しないことがあります。その場合、温かい室内などで暖機運転をしてください。

災害用地下給水タンクについて

災害用地下給水タンクは、配水池と合わせておおむね半径 1 キロメートル圏内で飲料水の確保ができるよう整備しており、地域防災拠点等の小・中学校を中心に、公園・みなとみらい地区などに設置されています。

通常配水管の一部として水道水が流れている地下式の貯水槽で、水圧が下がると流入、流出の弁が閉まり、飲料水が貯留される構造になっています。

発災後おおむね3日間、地域の皆さんによって仮設の蛇口を取り付け、給水することができます



港南区の災害用地下給水タンクの設置場所は

上永谷中、港南中、野庭中、港南台第二小、桜岡小、丸山台小、下永谷第二公園の7か所です。

災害用地下タンクの応急給水作業「操作手順」

1. 備蓄庫等の鍵を開ける
2. 応急給水資機材の確認
3. 応急給水事前確認
 - (1) 備蓄庫から給水資機材の搬出
 - (2) マンホール廻りに安全柵の設置
 - (3) 給水栓室の蓋開け、
 - (4) 給水栓室の換気(5分以上)
 - (5) 給水栓室内の消火栓の操作(水が出なくなった状態⇒無圧)
4. 応急給水装置の組立て
5. 水質検査
6. 応急給水開始
7. 応急給水作業完了

1. 備蓄庫の鍵を開ける。



2. 応急給水資機材の備蓄庫等での確認



(1) 手動ポンプ(2台)



(2) 給水ホース(2組4本)



(3) 応急給水装置(2組)



(4) バルブキー(1本)



(5) マンホールハンドル(2本)またはマンホール開閉器(2本)



(6) 残留塩素濃度測定器



(7) 工具セット・1式



(8) カラーコーン、タイバー

(9) 災害時地下給水タンク操作マニュアル(A3縦両面印刷パウチ加工)

3. 応急給水の事前確認・準備

災害用地下給水タンクは平常時には高い水圧がかかっています。(タンク内に圧力がある状態)しかし、地震で水道管が破裂・漏水、水道管の水圧が下がると、タンクの流入口・流出口の緊急閉止弁が自動的に閉止し、飲料水を確保する仕組み(タンク内に圧力がない状態)となっています。

災害用地下給水タンクでの応急給水はこの状態(タンク内に圧力がない状態)のときに行いますので、事前にその状態を確認するために行うものです。

- (1) 備蓄庫等からタンクへの運搬リヤカー等を利用して応急給水資機材を運搬する。
- (2) マンホールハンドルで給水栓室の蓋を開ける。(蓋を足元に落下させないように注意する)
※蓋開け後20分間は給水栓室内に入らないこと。



※ 酸素欠乏症の危険が考えられるので、給水栓室の換気は必ずおこなうこと！
空気中の酸素濃度(正常では21%)が18%未満の状態を酸素欠乏といいます。

- (3) マンホールの回りに安全柵を設置する。(カラーコーン4個とタイバー4本)
- (4) 消火栓のキャップを外し、バルブキーを立て、1/4回転程度ゆっくりと右に回して(時計回り)開ける。この状態を3分程度保持し、水の出具合を見る。
※消火栓の操作をおこなう時には急な水の吹き出しに備えて、給水口上に顔を出さないこと。

- (4) - ① 3分経っても水が出続ける状態⇒有圧

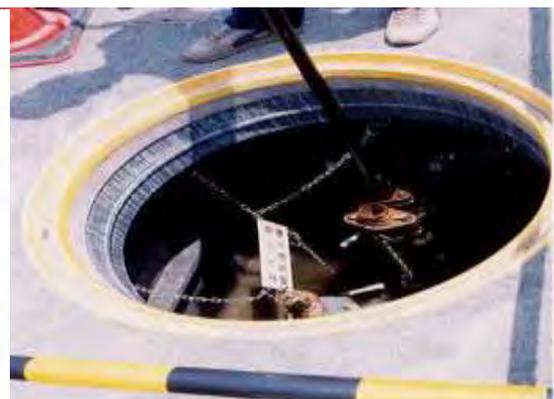
※有圧の場合は災害用地下給水タンクでの応急給水は行わない。

消火栓を閉め(左回し、反時計回り)、マンホールハンドル、バルブキーを備蓄庫等へ収納する。有圧ということは、その地域は断水していません。

- (4) - ② 水が出なくなった状態⇒無圧

※無圧の場合は応急給水を行う。

安全のため(マンホールに人が落ちないように)給水栓室の蓋を閉め、以後の操作に移行する。



4. 応急給水装置の組立て(必要に応じて1栓または2栓)

- (1) 給水栓室内に入り、給水栓の蓋(ダストキャップ)を取外す。
- (2) 給水栓の下に設置されている補修弁を開ける(レバーを右側へ倒す)。
※O(OPEN)の表示に合わせる)



- (3) 給水ホースの片方を小型表函から室内に入れる。
※室内に入れるとき、内部にある緊急閉止弁の部品に給水ホースが接触しないように注意して設置する。
- (4) 給水ホースの両端のダストプラグを取り外し、片方を給水栓に取り付ける。
締め付けレバーを倒し、しっかりと締め付ける(以下、レバーによる取付方法は同じ。)



・小型表函から室内にホースを入れる

・片方を給水栓に取り付ける。

- (5) 給水栓室の蓋を閉める
- (6) 小型表函から外に出ている給水ホースを手動ポンプの流入口に取り付ける。



- (7) 応急給水装置を組立図(テキスト別添)のとおり組立てる。
- (8) 手動ポンプの流出口と応急給水装置の間に給水ホースを取り付ける。
- (9) 手動ポンプのハンドルを操作し、給水ホース及び給水装置を洗浄する。
(全部の蛇口を開けて1分程度)



5. 水質検査

「パケットテストの使用上の注意」を見ながらパケットテストにより 残留塩素濃度を測定する。

この時「標準色」で 0.1mg/L以上であれば給水可能とするが、まったく反応が無い場合は 2～3分追加洗浄し、再度測定する。

※残留塩素濃度が 0.1mg/L以上無ければ、貯留水は衛生上安全でないため給水は行わない。

6. 応急給水開始

残留塩素濃度を測定した結果、「標準色」が 0.1mg/L以上であれば応急給水を開始します。



- ① 見目でキレイな水が出るようになってから1分間以上、水を出す。
- ② 試薬の先端の糸を引き抜いて、軽くつまんで中の空気を追い出し、試薬の中に水を入れる。
- ③ 試薬に水を入れたら軽く振りまぜ、試薬の中の水の色の変化を確認する。
- ④ 試薬に水を入れ軽く振り混ぜて 10 秒後、色が薄くてもピンク色に反応すれば、飲み水として使用可能。

災害用地下給水タンクの応急給水作業「操作手順」

1. 防災備蓄庫の鍵の保管者
○地域防災拠点運営委員会 ○小・中学校
2. 防災備蓄庫を開ける
3. 防災備蓄庫内の応急給水用機材
○手動ポンプ 2 台 ○給水ホース 2 組 4 本 ○応急給水装置 2 組
○工具セット 1 式
・工具箱① ・ドライバー(-)① ・金槌① ・モンキースパナ(大)① ・モンキースパナ(小)①
○鉄蓋用バール 2 本 ソケットレンチ 1 本 マンホールハンドル 2 本
○バルブキー 1 本 ○パケットテスト 1 式
4. 機材の運搬
○組立て式リヤカー(備蓄庫内の備品)
5. 給水栓室の蓋開け
○給水栓室の蓋を専用器具を使い開ける。
6. 給水栓室の換気
○20分間は室内に入らない
7. 安全対策
○マンホールの周りをカラーコーン・タイバー(各4個)を使い安全柵を設置する。
8. 事前確認作業 ○消火栓の操作 ○水の出具合を見る(3分程度)消火栓から水が出なくなったら、消火栓を閉めて応急給水を開始。水が止まらない、応急給水は行わない。
9. 止水栓の操作
○止水栓、補修弁の操作
・給水栓上部に止水栓が設置されている場合。左方向に回し全開にする。
・補修弁が設置されている場合。レバーをオープン方向「O」に倒す。
10. 給水栓から手動ポンプまでの接続
○給水ホースを小型表函または、給水栓室人孔より直接室内に入れ、給水栓口(赤)へ接続をする。
○もう一方の口をポンプの下部にある流入口(赤)に接続する。
11. 応急給水装置から手押しポンプまでの接続
○応急給水装置の組立て備え付けの組立図を参考に装置の組み立てを行う。
○装置(黄)に給水ホースを接続する。
○もう一方の口をポンプの上部にある流出口(黄)に接続する。
12. 応急給水装置の洗浄
○一番遠い蛇口を一つだけ開けきれいな水が出たら、装置内部の洗浄のため全ての蛇口を開け、1分間程通水する。
13. 水質の測定
○パケットテストを使い残留塩素濃度の確認を行う。
14. 水質の判定
○測定値が0.1mg/L以上あることを確認する。
○残留塩素が検出されない場合は、再度洗浄を行い測定する。
○再度行っても出ない場合は衛生上、飲料水として使用できません。
15. 応急給水の開始
○水質を確認しOKなら応急給水を開始します。

以上

受水槽を活用した飲料水の確保

- 1 蛇口スタンドを組み立て、ホースを取り付ける
- 2 蛇口を全開にして水を出し、見た目でキレイな水が出るようになってから1分間、水を出す
- 3 残留塩素測定を行う（次ページ参照）



① ホース



② 蛇口スタンド



港南台第二小学校、旧野庭中学校、港南中学校
丸山台小学校、桜岡小学校、上永谷中学校
下永谷第二公園

災害用地下給水タンク操作マニュアル

1 備蓄庫の位置及び内部



ひばり団地4号棟前に備蓄庫



2 資機材の確認

手動ポンプ・給水ホース・応急給水装置 2セット



工具箱 残留塩素測定試薬・下段左から金種・ドライバー・ウォーターポンプブライヤー（通称カラス）・モンキーレンチ2本・ソケットレンチ・マンホールハンドル・バルブキー・緊急給水栓用機材2種類

開閉を表示したバルブキー



3 応急給水事前確認（同穴消火栓による無圧確認）

酸欠防止のため蓋を開けたら 5分間立入禁止！



ドライバーとソケットレンチを使って、マンホールの止め具を外します。



マンホールハンドルで蓋を持ち上げ、横にスライドさせます。



消火栓のキャップを外し、矢印の部分にバルブキーを立てます。



バルブキーで止水バルブをゆっくり右（時計回り）に回して水圧確認をします。3分後無圧が確認できたら、バルブを必ず閉めて以後の作業にかかります。

注意

消火栓の給水口上に蓋を出してはいけません。水が突然噴出した場合危険です。バルブキーを操作しづらい場合もあります。



バルブキーを回して3分後水が出続ける場合、タンク内に有圧なので応急給水を行うことはできません。バルブキーをゆっくり左（反時計回り）に回して消火栓を止め、蓋を閉め器材を備蓄庫へ戻します。



4 本格給水準備



リヤカーでの
機材運び出し



マンホールの
回りに安全柵
を設置します。

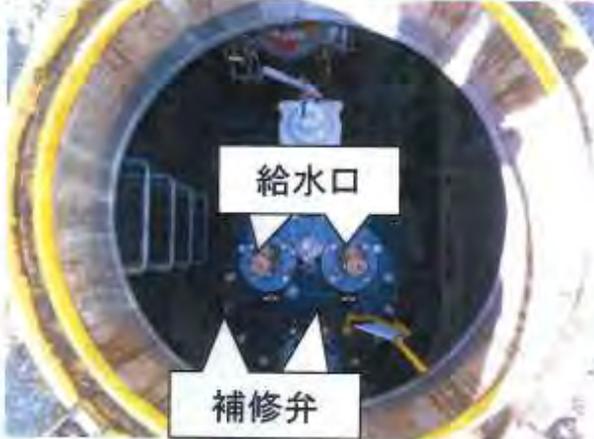


マンホールの
蓋開け

5 応急給水装置の組み立て

誤欠防止のため蓋を開けたら

20分間立入禁止



マンホール内作業



5-① 給水栓室に入り、締付レ
バーを下げて緩給水栓の蓋
を緩め取り外します。



5-② 給水栓の下に設置されている補
修弁を開けます。
(レバーを右側へ45度倒し、O(OOPEN)
の表示に合わせます。)



5-③ 給水ホース(赤テープ)を給水栓に繋ぐ
ために、まず給水ホース端のプラグ(蓋)を取
り外します。
二つの締付レバーを左の写真のように開放
状態にするとプラグを取り外せます。



5-④ 赤テープの給水ホ
ースと給水栓をしっかり
と繋ぎ締付レバーを上
げて固定します。

屋外作業

5-⑤ テープの色を合わせポンプホースを接続します。

5-⑥ 蛇口を組み立て、黄色
のホースにつなげます。



赤色テープのホース



繋がっている状態



黄色テープのホース

注意



作業中は急に頭を上
げたり、呼ばれて振り向
いたりしないでください。
怪我につながり危険で
す。必ずヘルメットや帽
子等を被って作業をして
ください。

5-⑦ 通水・洗浄



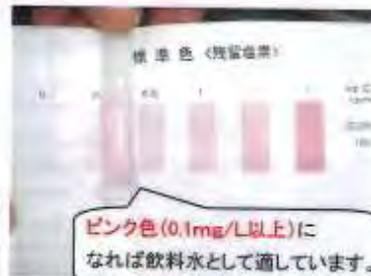
一番遠い蛇口を一つだけ開け水が出たら、
装置内部の洗浄のため全ての蛇口を開け
て1分程度通水します。

6 安全確認 残留塩素測定(バックテスト)

ピンを抜きます。



本体をつまんで空気を抜き
蛇口からの水をスポイトの
要領で吸い込ませます。



ピンク色(0.1mg/L以上)
になれば飲料水として適しています。

灯油式かまど(小学校拠点)

灯油式かまどセットの仕様

種類: まかないくん 85 型(ヤマヤ物産)

重量: 約 54kg

使用燃料及び燃費: 灯油(タンク容量 20 リットル) Hi 3.23 ℓ/h Lo 2.28 ℓ/h



1. 使用にあたっての注意点

- 1) 釜やかまどの排気孔付近は調理中や調理直後には高温になっています。直接触れないでください。
- 2) かまどの排気孔はふさがらないでください。不完全燃焼の原因となり危険です。
- 3) このかまどは屋内では使えません。屋外専用です。屋外で使用する場合でも雨や埃がかからないよう風通しの良いテントの下などでお使いください。
- 4) 吹き消えなどで炉内に生ガスが発生した場合は、すみやかにバーナーコックを閉め、かまど内に風を送り込み内部の滞留ガスを放出して下さい。
- 5) 風の強い時などは、時々バーナーの着火状態を確認してください。
- 6) 新建材、ゴム、プラスチック、ダンボール類は燃焼しないでください。悪性ガスの発生やかまどを腐食させる原因になります。

2. 使用方法

【かまど本体の組み立て方】の手順

1. かまどを設置したら、キャスターにロックをかけ、羽釜を外します。かまどの上部が反転している場合は、まかないくんのマークが前に来るようにします。
2. このとき皿目も並べます。



3. 羽釜を乗せたら組立完成です。



【灯油バーナーの取付】の手順

1. カマドの蝶ネジ部にバーナーを引っ掛けます。カマドのチェーンが火口内に入らないように気をつけてください。



2. 灯油タンクを2m以上離して設置します。



3. ホースのエア抜きを行います。ストレーナー上部にある金ネジを10円玉などで緩めてください。



4. コックの位置がタンクの底辺より上にあるためタンクに灯油を3L以上入れ、プラケースの上に置いて、コックを開きます。



5. ストレーナー下に灯油タンクの蓋を設置します。蓋の下には雑巾などを敷いてください。



6. 金ネジ部から灯油が出てきて、泡→透明な灯油になったら締めます。ストレーナーについた灯油は雑巾で拭き取ってください。



【灯油バーナーの着火】の手順

1. コンセントを差し込んで、火力HIの状態から電源をONにします。



2. バーナーをONにするときは必ず羽釜の中に水もしくは食料を入れましょう。空焚きは禁止です。



3. バーナーを稼働中は可燃物を近くに置かないで下さい。



【収納】の手順

1. タンクのコックを閉め、バーナースイッチをONにします。
※ この時、羽釜は必ず外すこと(空焚き注意)



2. バーナーの火が消えたら、バーナースイッチOFFにしてバーナーを取り出してください。



3. 目皿をまとめて灰受け皿にまとめます。



4. 羽釜を戻し、シートカバーをかぶせたら収納完了です。



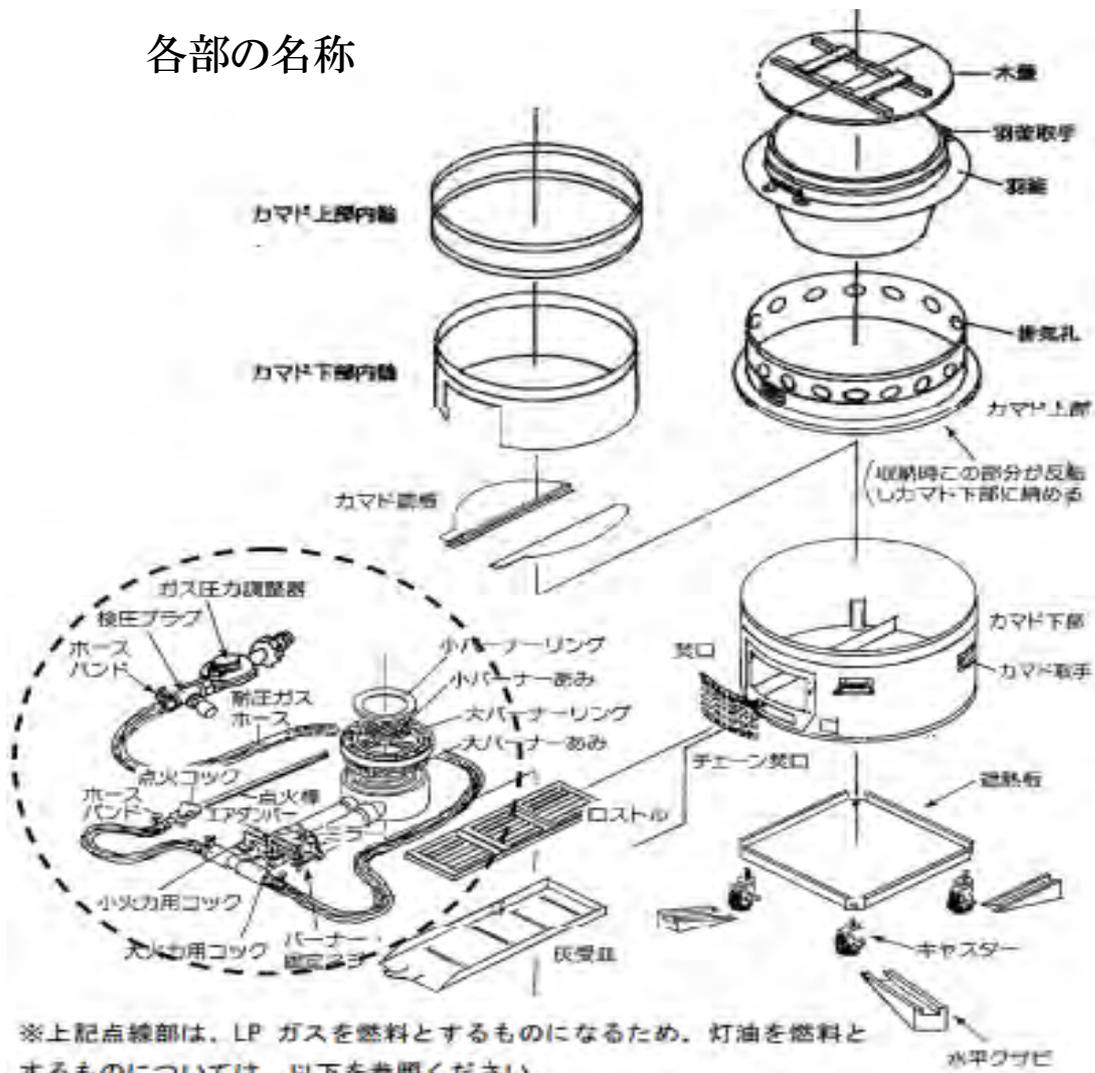
5. 灯油タンクの灯油をすべて抜き取ります。



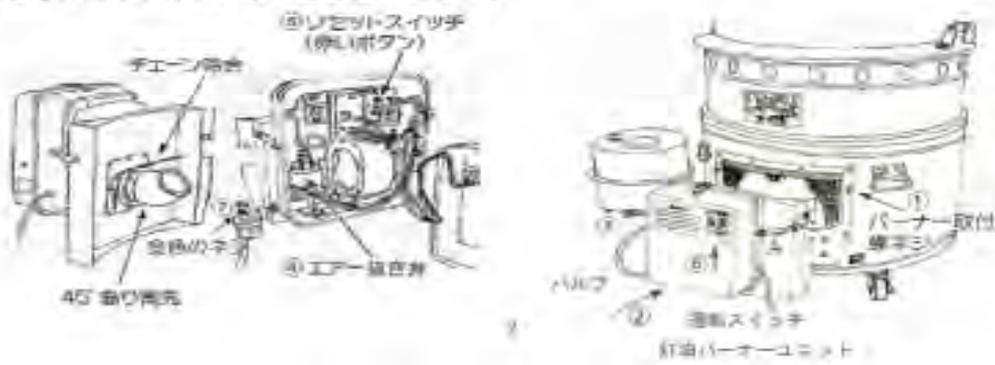
6. バーナーのヘッドが冷めたら、左:バーナー 右:タンクの順番にプラケースに収納してください。



各部の名称



※上記点線部は、LP ガスを燃料とするものになるため、灯油を燃料とするものについては、以下を参照ください。



ガスかまどセット(中学校拠点)

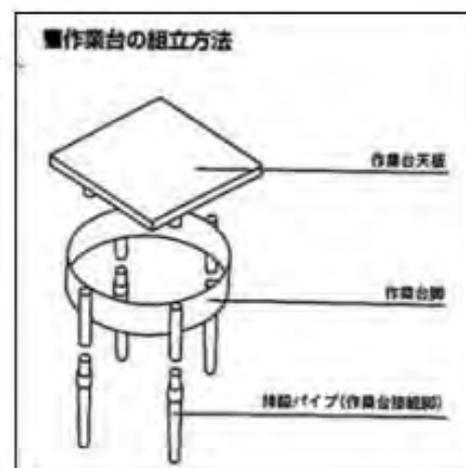
種 類	災害対策用スーパーかまど (オザキ)			
重 量	総重量 141kg (上かまど 71.5kg、下かまど 69.5kg)			
寸 法	(単位 : mm)			
		幅	奥行	高さ
	収 納 時	900	900	1540
	使 用 時	900	900	660
使用燃料 及び 燃 費	LP ガス 38.22kW (2.73kg/h) × 2			
釜 容 量	104ℓ (φ700)			
備蓄数量	中学校拠点等に 1 台			

【かまど設置要領】

- ① 上かまどの脚を4人で持ち、そのまま10センチメートルくらい持ち上げて、接続パイプから抜き、屋外に異動して設置します。
- ② 設置した上かまどから、作業台天板、フタを取りはずし、釜の中から備品段ボール箱を取り出します。
- ③ 下かまどの脚を4人で持ち上げ移動し、上かまどに並べて設置します。
- ④ 下かまどからフタを取りはずし釜の中から備品段ボール箱を取り出します。
- ⑤ 下かまどの連結ガイドから接続パイプ(作業台接続脚)4本を抜き取り、下かまどの中から作業台脚を取り出します。

【作業台組立方法】

- ① 上かまどから取り外した作業台天板を、下かまどの中から取り出した作業台脚の上に差し込んで下さい。
- ② 下かまどの連結ガイドより、抜き取った接続パイプ(作業台接続脚)4本を、作業台脚に差し込んでください。



【点火前準備】

- ① 各バーナーの器具栓が閉まっていることを確認し、LPガスボンベの元栓を開けます。
※ 器具栓は配管に対して直角の位置が「閉」になります。
- ② かまどの扉を上を持ち上げて開け、かまどの中から「バーナー本体」をかまどの外にストッパーで止まるまで引き出し、かまどの扉を閉めます。
- ③ 釜、フタが正しい位置にセットされているか確認します。
- ④ 備品段ボール箱から備品を取り出し、作業台の上に置きます。

【点火～消火要領】

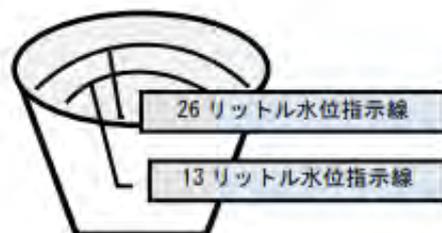
- ① 点火器を点火孔に差し込み点火させ、パイロットバーナー器具栓を開いてパイロットバーナーに点火します。
- ② 外側バーナー器具栓と内側バーナー器具栓を開くと、パイロットバーナーにより各バーナーに着火されます。(外側・内側バーナーともに90度回すと最も強火になります。)
- ③ 消火するときは、すべてのバーナー器具栓を閉めます。※消火できたことを確認してください。

【炊飯準備】 ※米を炊くときは「湯炊き」という方法を用います。

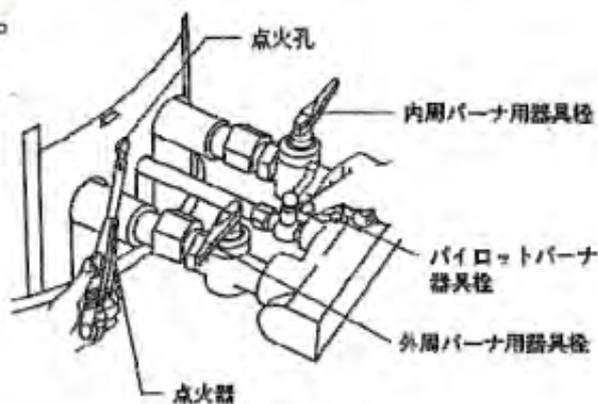
- ① 米を研ぎ、研いだ米は30分間、水に浸しておきます。

【炊飯要領】

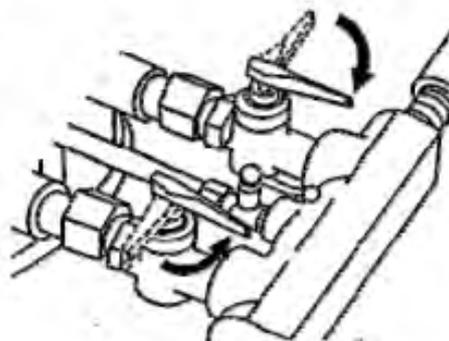
- ① 水位指示線を目安に釜の中に水を入れます。
※ 米 10 kgの場合は水 13 リットル、
20 kgの場合は水 26 リットル



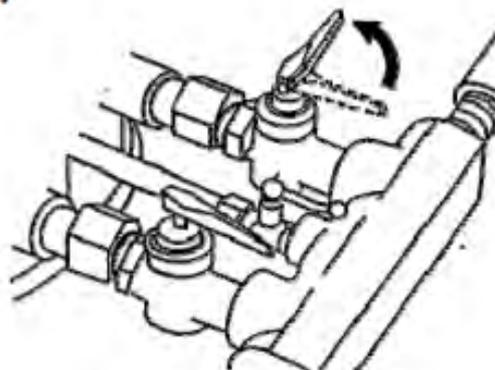
- ② パイロットバーナに点火して下さい。
(点火は必ず確認してください。)
点火器を点火孔に差し込んで点火させ、
かまどバーナーのパイロット器具栓を開いて、
パイロットバーナに点火してください。



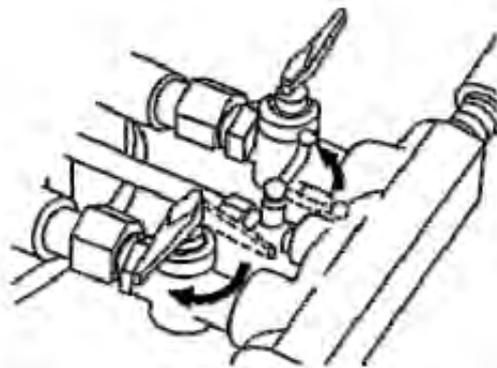
- ③ バーナを全点火にして、釜の中の水を沸騰させてください。



- ④ 釜の中の水を沸騰させた後、米を入れてかき混ぜ米を平らにします。
⑤ 4分後、釜の中の米をもう一度よくかき混ぜ、米を平らにします。
⑥ 混ぜ終わったら、内側バーナー（右側の器具栓）のみ消火します。

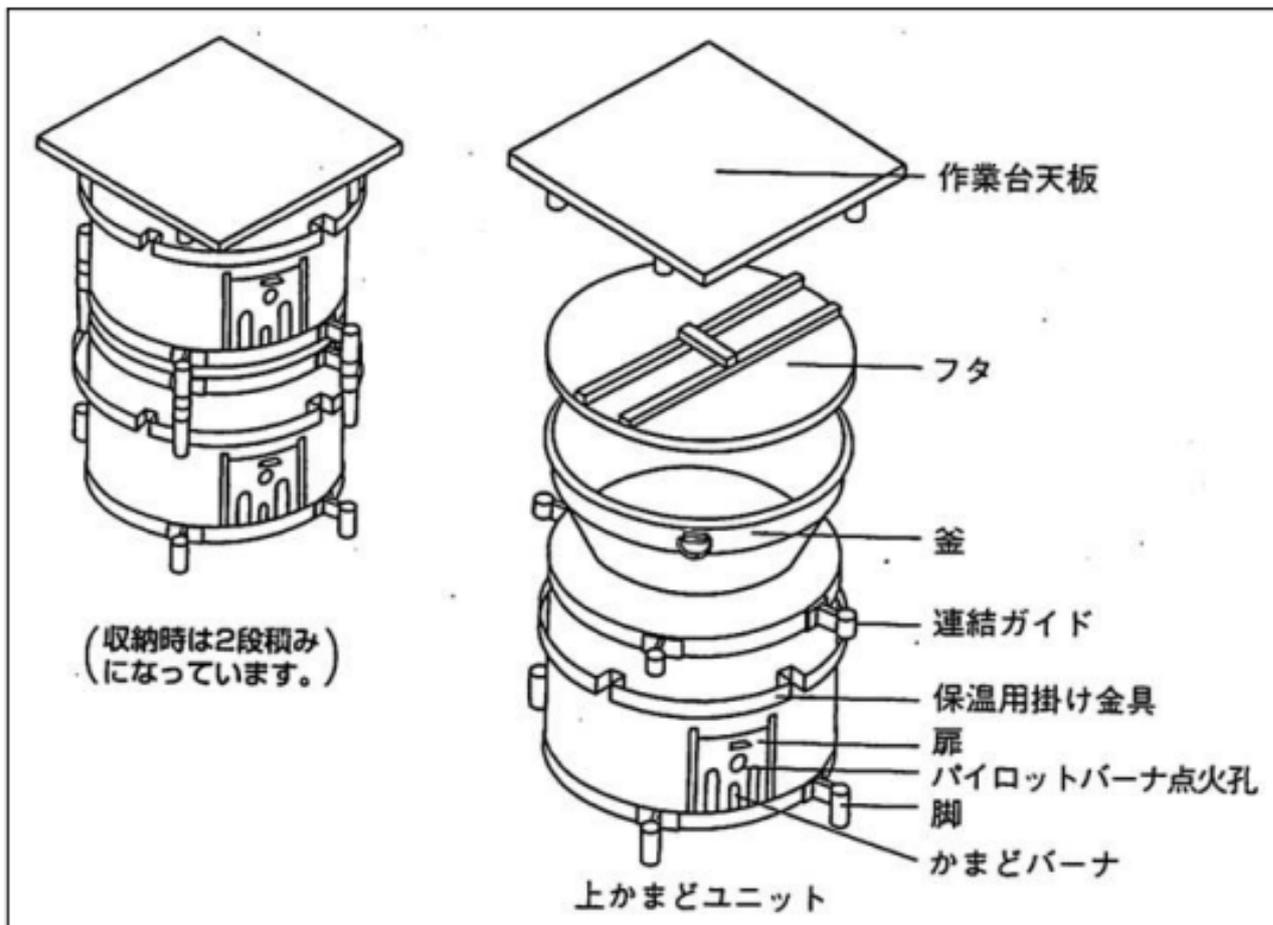


- ⑦ さらに1分後すべてのバーナーを
消火します。



20 分間蒸らすとできあがりです。

各部の名称



12. 救助・救護に必要な資機材の取り扱いのポイントと注意事項

エンジンカッター

横浜市では2種類のエンジンカッターを備えています。

・K650（パートナー社製）本体色：黄色

・EC757（新ダイワ社製）本体色：赤色

特に性能・操作方法の違いはありません。エンジンカッターは、高速回転する刃物でコンクリート、鋼材などを切断する機械ですので、誤った使い方をするると大変危険です。

1. 部品名称 K650(パートナー社製)



2. 使用にあたっての注意点

☆エンジンカッターで金属などの切断する際は火花が散るため、危険防止用の保護具を使用し周囲に可燃物がないか確認する。

☆ 燃料の混合ガソリン及びその気化ガスは、引火性が高いので取扱いに注意する。

- 1) 燃料がエンジンカッター本体から漏れていないことを確認する。
- 2) 給油時などに燃料を周りにこぼした場合は必ず拭き取る。
- 3) 操作する人は作業中、カッターの前後方向の延長線上に足等を置かないようにする。
- 4) 操作中はカッターの前後方向に人を近づけない。
- 5) 操作中に異常を感じた場合は直ちに操作を中止する。
- 6) 換気の悪い場所では使用しない。
- 7) 本機を移動する場合は必ず エンジンを停止してから行なう。
- 8) 身支度は危険防止のため、ヘルメット、防塵めがね、滑りにくい手袋(革手袋など)肌を露出しない服装(燃えにくいもの)、安全な靴を装着すること。

3. 使用方法 【安全確認の手順】

- 1) ①カッターがしっかり締まっていることを確認する。
締め付けがゆるい状態でカッターを回転させると、ディスクが勢いよく飛び出すことがあります。ディスクが人体に当たった場合、大怪我や人命に重大な影響を及ぼす恐れがあるため、必ずエンジンカッターの前後方向に人が立っていないことを確認してから作業を開始して下さい。
- 2) ②ディスクカバーの角度を調整する。
エンジンカッターで金属などを切断する際は火花が散るため、カバーを調整し自分に火花がかからないようにする。
- 3) ⑥Vベルトにたわみがないことを確認する。
- 4) ⑦スタートハンドルを引きスタートロープに著しい摩耗や損傷がないか確認する。

【エンジンの始動手順】

- 1) ⑨給油口をはずし、混合燃料を入れる。
燃料は、市販されている混合燃料無鉛ガソリン+2サイクル専用オイル=20:1を使用します。(25:1も可)
- 2) ⑩エンジン停止スイッチが「ON」(上にあがった状態)になっていることを確認し、⑪チョークを引く。何度か始動させ、エンジンが十分温まっている場合、チョークを引く必要はありません。
- 3) ⑫スロットルキャッチを押しながら⑬スロットルトリガーを握り、⑭ハーフスロットルボタンを押し込んで手を離す。
- 4) ⑧デコンパバルブを押し込む。デコンパバルブとはエンジンシリンダー内の圧力が高いと始動に力が必要であるためデコンパバルブを押し入れることにより圧力を下げ始動し易くする。
- 5) 左手で④前ハンドルの中心を握り、⑤後ハンドル下部を右足で踏んで固定し、右手で⑦スタートハンドルを握り、後方を確認し、勢いよく引く。
- 6) 初爆(ボンという音がする)が起きたら、⑧デコンパバルブを再度押し込み(デコンパバルブは初爆時に元に戻ります)、⑪チョークを戻す。
- 7) 手順5と同じ要領で、⑦スタートハンドルを再度、勢いよく引く。
- 8) エンジンが始動したら⑦スタートハンドルを握ったまま、自動巻戻しの速度に合わせてゆっくり戻す。
- 9) ⑬スロットルトリガーを引いて、ハーフスロットルを解除して、エンジンの動作(回転)に異常がないか確認する。トリガーから指を離し、カッターの回転が止まるのを待つ。

【切断の手順】

- 1) 足場がしっかりしている平らな場所に立ち、エンジンカッター本体を、左手で④前ハンドルを、右手で⑤後ハンドルを確実に持つ。必ず両手で使用する。
- 2) ①カッターを切断しようとする面に直角になるように当てる。
切込みを付けたあとは、まっすぐに切断していく。切断時はスロットルトリガーを強く(全開)握り、エンジンの回転数を最速にする。
切断中は回転を緩めない。カッターを斜めにあてるとカッターに負担がかかり、カッターの刃が欠け、飛び散る恐れがあります。また、切断の途中で回転を止めると、カッターがひっかかり、抜けなくなることがあります。
- 3) 切断後、エンジンカッターを持ち上げ、⑬スロットルトリガーから指を離す。
① カッターの回転が止まるのを待つ

【エンジンの停止】の手順

- 1) エンジンカッターを⑤後ハンドルの下の部分から先に降ろす。
また、①カッターが地面につかないようにする。
⑦スタートハンドルを軽く引き、エンジンが完全に停止するまで、⑩エンジン停止スイッチを下に押し続ける。
スタートハンドルを引かずにエンジンを停止させた場合は、自動巻戻しの力によりスタートハンドルの先にあるスタートロープが切れる恐れがあります。
必ず、スタートハンドルを軽く引いた状態で、エンジンを停止させてください。(スタートハンドルを左手で引き、その手で前ハンドルを持つと安定した体勢でエンジンを停止できます。)
- 2) エンジンが停止したら、「⑦スタートハンドル」をゆっくり元に戻す。

4. 収納保管の手順

- 1) ⑨給油口から余った燃料を取り出す。
燃料を入れたままで数ヶ月使用しないと、燃料が固形化しエンジンがかからなくなることがあります。
- 2) エンジンを始動し、本体に残っている燃料がなくなるまで運転する。
- 3) エンジンが完全に冷えてから収納する。

廃油の処理

エンジンカッター等を使用し、取り出した燃料を地面や排水溝などに処分することは 廃棄物処理法で禁止されています。

ガソリンスタンドなどで適正な処理を行ないましょう。

エンジンカッターの取り扱い(写真)



拳で打撃し“緩み・ガタ”が無い確認



【エンジン停止スイッチ】



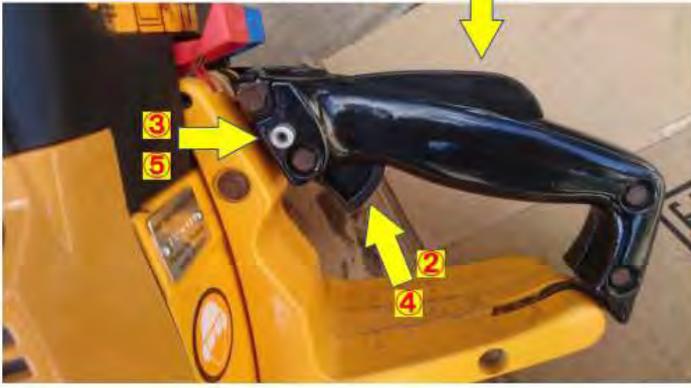
【給油】



・無鉛ガソリン+2サイクルオイル
20:1の混合燃料
(25:1でも可)



【エンジン始動】



【ハーフスロットル】

- ①スロットルキャッチャー
- ②トリガー
- ③ハーフスロットルボタン
- ④トリガーを離す
- ⑤ハーフスロットルボタンを離す



- ①左手で前ハンドルを握る
※左手中指がディスクカバーの中心に
- ②右足を後ろハンドルに入れる
- ③デコンプバルブを押す
※シリンダー内の圧力を下げる
- ④チョークを引く
※エンジンが温まっている場合は除く
- ⑤前方指差し確認
- ⑥後方指差し確認
- ⑦右斜め後方指差し確認
- ⑧スターターロープを引き
エンジンスタート!
- ⑨ハーフスロットル解除
- ⑩カッターの回転が止まるまで待つ

【切断】



- ①本体を持ち上げる時は
カッターから上げる
- ②足は肩幅よりやや広く
- ③両足は平行に
- ④左腕は真っすぐに伸ばす
- ⑤後ろハンドル(右拳)は鼠径部



※ 注意 ※

- ①補助者はカッターより後方に位置する
- ②受講者の左腕を強引に伸ばさず、適度に距離を保ち安全を確保する

【誘導及び指示】



- ①受講者の腰を軽く叩き前進させる
- ②カッターの中心を鋼管に合わせる
- ③指導員は人差し指を握ってスロットル全開の合図

【切断及び指示】



- ①受講者の視線はディスクカバーの先端
- ②エンジンカッターの自重で切断する
- ③切断終了後は指導員が指で合図しスロットルトリガーから受講者の指を離す様指示
- ④カッターの回転が止まるまでその場で静止
- ⑤足元の後方確認
- ⑥指導員が誘導し後方に移動
- ⑦カッターをやや上向きにし本体を下す

【エンジン停止】



※左手はエンジン停止まで前ハンドルから離さない

- ①スターターロープを伸ばし前ハンドルと一緒に左手で握る
- ②エンジン停止ボタンを押すスターターロープが2~3cm戻る
- ③スターターロープを戻す
終了!

【収納及び保管】



- ①給油口から燃料を抜く
- ②エンジンを始動し本体に残っている燃料が無くなるまで運転する。
- ③エンジンが完全に冷えてから収納する。

レスキュージャッキ

レスキュージャッキは、油圧を利用し様々な組合せにより少しの力で重量物を持ち上げたり、動かしたり、隙間を広げ被災者の救出などを行なうことができる道具です。

しかし、誤った使い方をすると使用者が重量物の下敷きになってしまうことや、被災者へさらに負荷をかけてしまう恐れがあります。状況に適した使用方法や組合せ方を正しく覚えましょう。

レスキュージャッキ

ハンドポンプ、スプレッドラム、ラムシリンダー



その他のアダプター



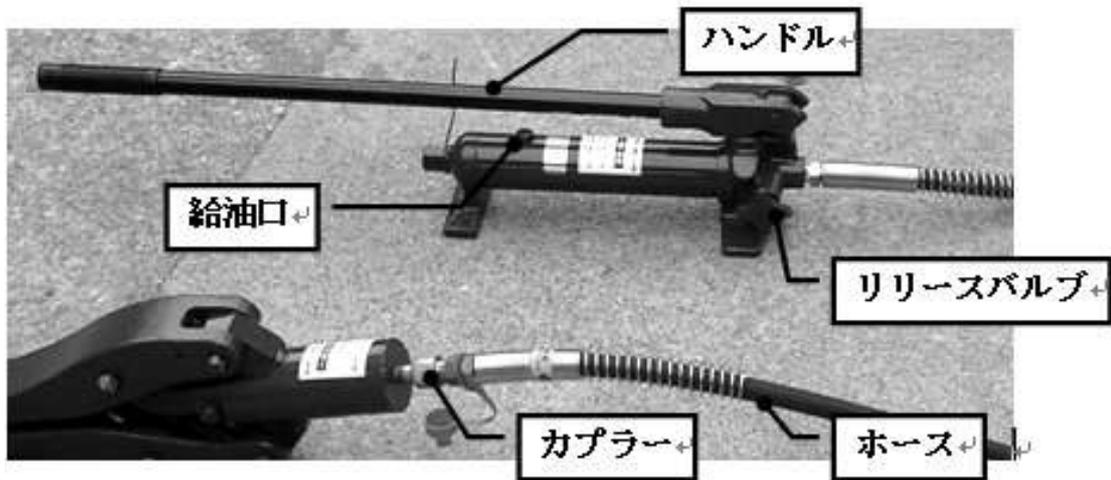
1. 使用にあたっての注意点

- 1) 持ち上げた重量物の下には入らないこと。
- 2) 腐食やさびの原因となるため、雨、水などをかけないこと。
- 3) 必要以上に持ち上げたり、動かしたり、隙間を広げないこと。

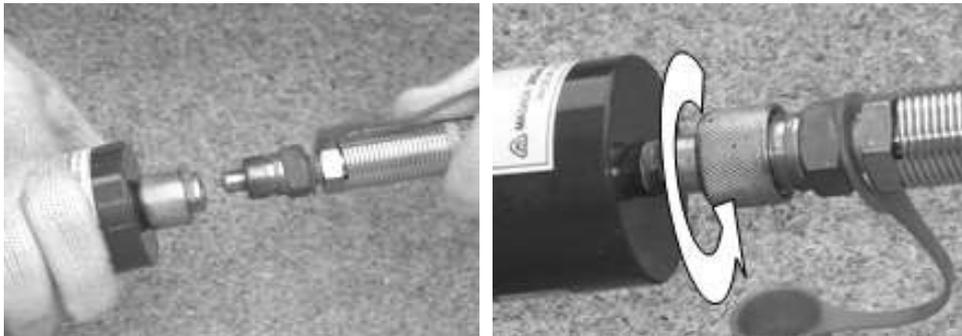
2. 使用方法

レスキュージャッキは、用途により、「①ハンドポンプ」に「②スプレッド ラム」や「③ラムシリンダー」、④～⑬アダプターなどを組合せて使用します。

【ハンドポンプの使い方】



- 1) リリースバルブをゆるめて、ホースとカプラーに圧力がかかっていない状態にする。
ハンドポンプにラムシリンダーなどを接続しない状態で操作を始めると、本機に圧力がかかり危険なので、特に注意する。
また、ハンドポンプが加圧状態のときにカプラーを操作することは、オイルが飛び出したり、破損の原因となるため注意する。
- 2) ハンドポンプホースのカプラーと接続部品(「②スプレッドラム」または「③ラムシリンダー」)のカプラーをそれぞれの連結ネジを手で締め、確実に接続する。
カプラーに異物が付着していると、オイル漏れの原因となるため、清潔に保つようにする。



- 3) 接続部品内のエア抜きをする。
 - (1) リリースバルブを時計回りにまわし、バルブを閉じる。
 - (2) 負荷の掛かっていない状態で、接続部品が最高の位置に上がるまで、ハンドルを使って操作する。
 - (3) 「①ハンドポンプ」を接続部品よりも高い位置に置く。
 - (4) 接続部品内とホース内の空気を抜く。次のどちらか一方を行う。
 - ① 接続部品をさかさまにする。
 - ② 接続部品のカプラーを上向きにする。
 - (5) リリースバルブをゆるめると空気が抜けて、「①ハンドポンプ」内のオイルと空気が置き換わる。
 - (6) リリースバルブを時計回りに手で締める。
リリースバルブは工具を使って締めると、バルブが破損する恐れがあるので、必ず手で締める。
 - (7) ハンドルを上下方向に作動させる。

用途と組合せ

A スプレッドラム

主な用途: すき間を広げる。

最大能力: 1トン

ストローク: 約273mm

特 色: 装着が簡単。物を持ち上げるなど様々な用途に活用できるが、最大能力は1トンまでとなっている。

注意事項: 使用する場合は必ずスプレッドラム本体を手で支えること。

B ラムシリンダーとアダプター

主な用途: 物を持ち上げる。

最大能力: 2トン

ストローク: 約125mm

特 色: アダプターを組み合わせる ことにより、様々な状況に対応ができる。

注意事項: 使用する場合は必ずラムシリンダー本体を手で支えること。

【組合せの一例】

1 ③ラムシリンダー+④プランジャートウ+⑤ラムトウ

2 ③ラムシリンダー+⑥Vベース+⑦ウエッジヘッド

3 ③ラムシリンダー+⑧ラバーフェイスドフラットベース+⑦ウエッジヘッド

※ 状況に応じて⑩、⑫ジョイントなどにより長さを調整します。

3. ハンドポンプへの給油

1) リリースバルブをゆるめて、「①ハンドポンプ」内に圧力がかかっていない状態にする。



2) 給油口のねじを外し、「一般油圧作動油 (ISO VG10 など)」を給油する。

(ハンドポンプを床に対して垂直に立て、穴の位置まで入れる。)

3) 給油が終了したらねじをしっかり締める。

4) 「①ハンドポンプ」を作動させ、ロッドを最高まで伸ばして正常に作動するか確認する。

発電機(ガソリン式・ガス式)

発電機は、エンジンにより発電し照明、テレビ、ラジオ、電熱器などの電源として活用します。この発電機を使用して、地域防災拠点に備蓄している投光機や灯油式かまどを稼働させることができます。地域防災拠点の備蓄庫には、ガソリン式及びガス式の発電機があり、それぞれ使用方法等が違いますので、正しく理解しましょう。

投光器は、家庭用コンセントや発電機を電源とし、操作はそれほど難しいものではありませんが、転倒などで強い衝撃を与えると玉切れや投光機前面のシールドなどが破損することがありますので、取扱いには注意が必要です。

ガソリン式発電機 GV-9i
(株式会社工進) 4サイクル空冷
ガソリンエンジン
タンク容量:約 2.6 リットル
使用燃料:自動車用無鉛ガソリン



- | | | |
|-------------|----------------|-------------|
| ① 始動グリップ | ⑤ エコモードスイッチ | ⑨ 直流シガーソケット |
| ② 燃料給油キャップ | ⑥ 並列端子(交流用) | ⑩ 交流コンセント |
| ③ 燃料キャップつまみ | ⑦ 燃料コック・チョークノブ | ⑪ アース端子 |
| ④ エンジンスイッチ | ⑧ 周波数切替スイッチ | |



1. 使用にあたっての注意点

- 1) 室内や換気の悪い所では使用しない。
(排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります)
- 2) 雨の中や水のかかる所では使用しない。
- 3) 燃料のガソリン及びその気化ガスは、爆発性が高いので取扱いに注意する。
- 4) 操作中に異常を感じた場合は、直ちに操作を中止する。

2. 使用方法

【エンジンの始動】の手順

- 1) 「②燃料給油キャップ」をはずし、自動車用無鉛ガソリンを入れる。
- 2) 「⑦燃料コック兼チョークノブ」を「始動」にする。
- 3) 発電機の「⑩交流コンセント」と「⑨直流シガーソケット」に何も差し込まれていないこと確認し、「④エンジンスイッチ」を「ON」、「⑤エコモードスイッチ」を「OFF」にする。
- 4) 「①始動グリップ」をゆっくり引き、ロープに著しい摩耗や損傷がないか確認をする。
- 5) 後方を確認し、「①始動グリップ」を勢いよく引く。
- 6) エンジン始動後、「⑦燃料コック兼チョークノブ」を「運転」の位置にして暖機運転を行う。

【エンジンの停止】

- 1) 使用電気機器のスイッチを切り、電源プラグを抜く。
- 2) 「⑦燃料コック兼チョークノブ」を「燃料オフ」の位置にする。
- 3) エンジン停止まで待つ。(約5分)
- 4) エンジンが止まったら「④エンジンスイッチ」を「OFF」にする。
- 5) エンジンが十分に冷えてから、「③燃料キャップつまみ」を「OFF(閉)」にする。

3. 収納保管

- 1) 「④エンジンスイッチ」を「OFF」にしてエンジンを停止する。
- 2) 「②燃料給油キャップ」及びストレーナーを取り外し、市販の手動式ガソリン用ポンプを使用して燃料を抜く。
- 3) 「②燃料給油キャップ」及びストレーナーを取り付ける。
- 4) 「③燃料キャップつまみ」を「ON(開)」にする。
- 5) 「⑦燃料コック兼チョークノブ」を「始動」にする。
* エンジンが温まっている場合や夏季は「運転」にする。
- 6) 「④エンジンスイッチ」を「ON」、「⑤エコモードスイッチ」を「OFF」にする。
- 7) 「①始動グリップ」を引いて、エンジンを始動する。
- 8) 始動後、エンジンの回転が安定し立てるら、「⑦燃料コック兼チョークノブ」を「運転」の位置にする。
* 電気機器は接続しない。
- 9) エンジンが「ガス欠状態」で停止するまで待つ。
- 10) 「メンテナンスカバー」を取り外す。
ネジを取り外し、「メンテナンスカバー」を外側に引く。
- 11) 排出するガソリンを受ける容器を用意し、キャブレターのドレインパイプを容器で受け、ドレインネジをマイナスドライバーでゆるめて燃料を抜く。
- 12) ドレインネジを締め付け、ドレインパイプを元に戻す。



- 13) 「④エンジンスイッチ」「⑦燃料コック兼チョークノブ」「⑦燃料キャップつまみ」をすべて「OFF(閉)」にする。
- 14) 「メンテナンスカバー」「オイルプラグメンテナンスカバー」を取り付けて、ネジを確実に締め付ける。
- 15) 始動グリップを引っ張り、重くなった所で止める。
- 16) 室内で湿気が少なく換気の良い場所に保管する。

ガス式発電機

種類:EU9iGB(本田技研工業株式会社)

エンジン形式:空冷4ストローク立型(OHV)

使用燃料:LPG(液化ブタン/指定カセットボンベ)

タンク容量:500g(カセットガス2本の容量)



- ① エンジンスイッチ、②メンテナンスカバー、③キャリアハンドル、④リアハンドル
 ⑤左:出力表示灯・中央:過負荷警告灯・右:オイル/転倒警告灯、⑥始動グリップ
 ⑦交流コンセント、⑧アース端子、⑨並列運転端子、⑩エコスロットルスイッチ
 ⑪排気口、⑫周波数切り替えスイッチ、⑬オイル給油口、⑭ボンベカバー、⑮操作レバー



1. 使用にあたっての注意点

- 1) 室内や換気の悪い所では使用しない。(排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性あり)
- 2) 雨の中や水のかかる所では使用しない。
- 3) 排気口のそばに燃えやすいものを置かない。
- 4) 操作中に異常を感じた場合は、直ちに操作を中止する。
- 5) エンジンの始動にあたっては、発電機のコンセントから使用器具のプラグが抜いてあることを確認する。

2. 使用方法

【エンジンの始動】の手順

- 1) 「⑭ボンベカバー」を開け、「⑮操作レバー」が手前(解除)にあることを確認し、カセットボンベを2本差し込む。
※ボンベの先端の口金の割れ目が下に来るように差し込む。
正しく差し込んだら、「⑭操作レバー」を奥にスライドし、固定する。
- 2) 発電機の「⑦交流コンセント」と「⑨並列運転端子」に何も差し込まれていないことを確認し、「①エンジンスイッチ」を「運転」の位置に合わせる。
- 3) 「⑥始動グリップ」をゆっくり引き、ロープに著しい摩耗や損傷がないか確認をする。
- 4) 後方を確認し、「⑥始動グリップ」を勢いよく引く。
- 5) 約1分間の暖機運転を行う。

【エンジンの停止】の手順

- 1) 使用電気機器のスイッチを切り、電源プラグを抜く。
- 2) 「①エンジンスイッチ」を「停止」にあわせる。

4 収納保管

- 1) エンジンが停止したら、カセットボンベを取り外す。
※「⑭操作レバー」を手前に引いて、解除してから取り出す
- 2) 「①エンジンスイッチ」を「運転」に合わせ、再度エンジンを始動させ、発電機内の残留ガスがなくなるまで運転する。
- 3) エンジンが停止したら「①エンジンスイッチ」を「停止」にし、始動グリップを引っ張り、重くなった所で止める。
- 4) エンジンが完全に冷えてから収納する。

廃油の処理

発電機等を使用し、取り出した燃料を地面や排水溝などに処分することは廃棄物 処理法で禁止されています。ガソリンスタンドなどで適正な処理を行ないましょう。

投光器

投光器

種類:トライト360Y (株式会社スリー・エス)

重量:6.5kg

最大高さ:1.8m

必要容量:AC100V×90W

- ① LEDモジュール
- ② LEDモジュール固定用ノブ
- ③電源ユニット
- ④ 三脚



1. 使用にあたっての注意点

- 1) 使用前には取扱説明書をよく読むこと。
- 2) 転倒や怪我の原因になるため、運搬時には三脚を折りたたむこと。また、持ち運びの際には十分に注意すること。
- 3) 目を傷めたり、目に悪影響を及ぼす恐れがあるため、点灯しているLEDモジュールを長時間直視しないこと。

2. 使用方法

- 1) 平坦な場所に三脚の脚を広げ、三脚固定用ノブを締め、三脚を立てる。
- 2) LEDモジュールを三脚に取り付け、LEDモジュール固定用ノブで固定する。
- 3) 電源ユニットを三脚の引っ掛け金具に取り付け、LEDモジュールと電源ユニットのコネクタを接続する。
- 4) 電源プラグを発電機又は家庭用コンセントに接続すると点灯する。
消灯させる場合は、電源プラグを抜く。

3. 収納

- 1) 発電機又は家庭用コンセントから電源プラグを抜き、消灯する。
- 2) LEDモジュールと電源ユニットのコネクタの接続部分を取り外す。
- 3) 三脚に固定したLEDモジュール固定用ノブを外し、LEDモジュールを三脚から外す。
- 4) 三脚固定用ノブを緩め、三脚をたたみ、収納する。

投光器

種類:LEDサンサンライト (株式会社ネクセル)

重量:約5.3kg(本体約2.8kg、三脚約2.5kg)

最大高さ:約1.9m

消費電力:AC100V×120W

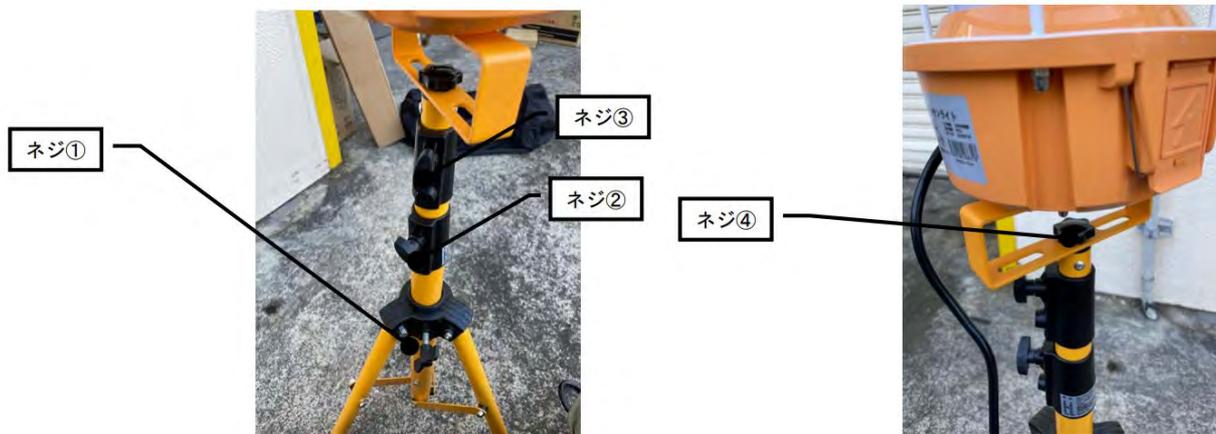


1. 使用にあたっての注意点

- 1) 使用前には取扱説明書をよく読むこと。
- 2) 強風等の時は転倒防止のために砂袋等を三脚架の下部に置くこと。
- 3) 目に悪影響を与えるため、光源を直視しないこと
- 4) 分解・改造をしないこと。

2. 使用方法

- 1) 平坦な場所に三脚の脚を広げ、ネジ①回して脚を固定させる。
- 2) ネジ②とネジ③を緩めて高さを調整し、それぞれのネジを締める。
- 3) ネジ④を回しながら外し、本体を三脚に取り付け、ネジ④でしっかりと止める。
- 4) 電源プラグを発電機又は家庭用コンセントに接続すると点灯する。
消灯させる場合は、電源プラグを抜く。



3. 収納

- 1) 発電機又は家庭用コンセントから電源プラグを抜き、消灯する。
- 2) ネジ④を回しながら外し、本体を三脚から外す。
- 3) ネジ①～ネジ③を緩め、三脚をたたみ、収納する。

13. その他(資料)

- 1) 地域防災拠点のトイレ対策
- 2) 災害時のトイレは大丈夫？
- 3) トイレパックの使い方
- 4) トイレを使用する際の注意点
- 5) 災害時給水所
- 6) 災害時給水マップ（港南区）
- 7) 災害に備えて飲料水を備蓄していますか？
- 8) 新型コロナ感染症対策
- 9) 港南区の人口
- 10) 港南区防災ランセンスリーダー連絡会会則



横浜市では、身近な市立の小中学校等を震災時避難場所に指定し、地域防災拠点として防災備蓄庫の設置、防災資機材・食料等の備蓄をしています。

地域防災拠点のトイレ対策

地域防災拠点では災害用トイレとして、「仮設トイレ（くみ取り式及び下水直結式）」「トイレバック」「簡易トイレ便座」を備蓄しています。

くみ取り式仮設トイレ



写真のようなトイレが、各拠点に合わせて2基、備蓄されています。



横浜市防災計画では北部事務所が発災2日目からくみ取りを行う計画になっています。

下水直結式仮設トイレ



地域防災拠点に順次、整備を進めています。

専用の下水管にプールの水や水道水を行って使用します。約500人使用したら野留井をあけ排水して再び水を貯めて使用します。

トイレバック・簡易トイレ便座



各拠点に5000セット備蓄されています。



簡易トイレ便座は和式便器でトイレバックを利用する時に使います。各拠点に6基備蓄されています。

横浜市資源循環局 北部事務所
横浜市旭区上白根3-38-2
TEL 045-953-0941
FAX 045-953-0942

災害時のトイレは大丈夫？

おおじしん お じょうけすいどうかん こわ
 大地震が起こると、上下水道管が壊れてしまい
 すいせん しょう かのうせい
 水洗トイレが使用できなくなる可能性があります。



そんな時の備えとして

ご家庭ではトイレパックの備蓄をお願いしています。



トイレパックって何？

上下水道管が壊れて使用できなくなった水洗トイレの便器に、ビニール袋を被せて、大小の用を足すことが出来る様にするものです。トイレパックには、凝固剤で固めるタイプや吸収シートを使うタイプ等、様々な種類があります。

凝固剤タイプの使い方



色のついたビニール袋と凝固剤のセットです。



ビニール袋を便座の上から被せて用を足した後に上から凝固剤を振りかけます。



使用後は燃やすごみに出します。



トイレパックはどこで売っているの？

ホームセンター等で取り扱っています。



備蓄量の目安は？

ひとり 15個程度 (1日5個×3日分) の備蓄をしましょう。

トイレパックの使い方

- 1 便座に排便用の袋
(黒色)をセットします



袋セット前



袋セット後

- 2 排せつ後、凝固剤を
ふりかけます

※しだいに固まってきます。



凝固剤投入前



凝固剤投入後

- 3 袋を取り出し、袋の口を
結びます



- 4 外袋にまとめ、燃やす
ごみとして出します※

※注意

他のごみとは分けてまとめます。
袋の外から見てトイレパックと
分かるように表示しましょう！



トイレを使用する際の注意点

- 1 感染症予防のため、建物内トイレの入口に専用の履物を用意しましょう
- 2 使用ルールと掃除当番を決め、地域防災拠点内で周知しましょう
- 3 生理用品やおむつなど、トイレットペーパー以外のものを入れられないようにしましょう
例:ごみ箱を設置する、掲示物により周知する等
- 4 掃除や手洗いの用途別に、洗剤等を用意しましょう
- 5 仮設トイレを女性やこどもが使用する場合は、安全面に配慮しましょう
例:複数人でトイレに行く、防犯ブザーを携帯させる等

災害時給水所

横浜市水道局では、震災時避難場所などへ応急給水するため、配水池、災害用地下給水タンク、緊急給水栓を災害時給水所として整備しています。

1. 配水池設置場所（2か所）

上永谷 港南台

2. 災害用地下給水タンク設置場所（7か所）

上永谷中、港南中、野庭中、港南台第二小、桜岡小、丸山台小
下永谷第二公園

3. 緊急給水栓設置場所（23か所）

市立中学校

上永谷、港南、港南台第一、笹下、芹が谷、旧野庭、日限山、日野南、丸山台

市立小学校

上大岡、港南台第二、桜岡、下永谷、下野庭、相武山、日限山、日野、日野南、丸山台、吉原

その他

野庭中央公園、港南区総合庁舎、南高・南高附属中

備え 災害が発生する前に…すぐにできる備え

水のくみ置きポイント

ポイント① 「ふたのできる容器に口元まで」
塩素の消毒効果を保つために浄水器を通したり、沸かしたりせず、蛇口から直接、口元いっぱいまでそそぎましょう。

ポイント② 「1人1日3リットル」
人間に必要な水の量は1人1日3リットルです。この量を目安に、3日分程度のくみ置きをしてください。

ポイント③ 「常温で3日間、冷蔵庫では10日間」
塩素の消毒効果は直射日光を避けて、常温で3日間、冷蔵庫で10日間程度持続します。





災害時給水マップ

港南区

水道局では災害時に飲み水を得られるように、皆さまが住んでいるところから約500メートル以内の小・中学校や公園などに災害時給水所を設置しています。災害時は停電により電話やインターネットも使えない可能性があります。前もってこのマップで近くの災害時給水所を確認しておきましょう。



給水の場所には、必ずポリタンク等の容器を持参してください！



横浜市水道局キャラクター「はまぴよん」



災害用地下給水タンク

普段は水道管として使われ、新鮮な水道水が流れています。災害時に水圧が下がると、自動的に出入り口が閉まり、タンク内に飲み水を確保します。



配水池

非常時には、市民の皆さまが必要とする飲料水の1週間分に相当する水量を確保します。断水時に給水を行うほか、給水車への水の補給場所となります。



緊急給水栓

地震に強い水道管(耐震管)に仮設の蛇口を取り付けて給水する施設です。発災後おおむね4日目以降に、水道局職員が断水状況を踏まえて順次仮設の蛇口を設置していきます。



耐震給水栓

蛇口までの水道管を耐震化した、地震に強い屋外の水飲み場です。災害用地下給水タンクなどが設置されていない市内48か所の地域防災拠点を対象に整備を進めています。

お問い合わせ
045-847-6262

水道局お客さまサービスセンター 電話 045-847-6262 FAX 045-848-4281

災害時給水マップ
この冊子について

災害に備えて 飲料水を備蓄していますか？



飲料水の備蓄の目安は

1人1日3リットル

最低3日分で**9**リットル以上

災害に備え、ご家庭で最低3日分を目安として飲料水の備蓄をお願いします。また、災害時に従業員の皆さまが安心して職場に留まれるよう、職場での飲料水の備蓄も同様をお願いします。

水は湧くと
重いから
家にあると
安心！



家庭だけでなく
職場でも！

横浜水道局

ローリングストック法

日常生活を少し工夫するだけで
備蓄ができる！

少し工夫するだけで備蓄ができる！ローリングストック法

新型コロナウイルス 感染症対策

感染を拡大させないため、基本的な感染防止策

必要な場面でのマスクの着用、手洗い、三密の回避、換気の徹底を心がけてください。

ワクチン接種後も、「マスクの着用」や「手洗い」、
「3密(密接・密集・密閉)回避」などを徹底してください。



正しく使おう **マスク!**



①鼻の形に合わせて
ずき感をふさぐ



②あご下まで伸ばし顔に
きき気なくフィットさせる

**会話時は
必ず着用!**

ポイント

- 鼻出しマスク× あごマスク×
- 離けたら外側は触らない
- ひもを持って着脱
- 品質の確かな、できれば不織布を



こまめにしよう

手洗い・手指消毒!

こんなタイミングでは必ず!

- ・共用物に触った後
- ・食事の前後
- ・公共交通機関の利用後 など

ポイント



指先・手の間・指の隙や手首も
忘れずに洗いましょう!



目指そう **ゼロ密!**

一つの密でも避けましょう!!



密接

マスクなし× 大声×



密集

大人数× 近距離×



密閉

換気が悪い× 狭い所×

▶ 体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。 ▶ ワクチン未接種の方は接種をお願いします。

厚生労働省より

港南区の人口

人口・世帯

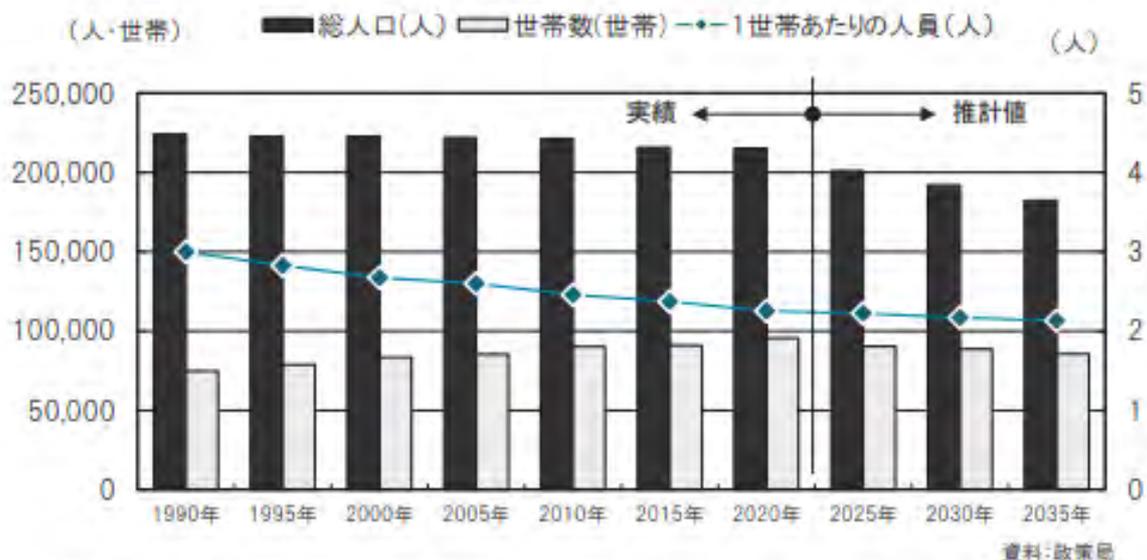
51年前と比べ、人口は約2.3倍に増加していますが、一世帯あたりの人数は年々減少しています。

港南区の人口は、1969年(昭和44年)に区が発足した当初の9万5,545人に対して、51年後の2020年(令和2年)10月1日現在の人口は、約2.3倍の21万5,248人となっています。

1990年(平成2年)頃まで、集合住宅建設をはじめとした宅地開発により、人口が増え続けましたが、その後は人口減少の傾向が表れ、今後の将来推計でも、人口減少が続く見込みです。

また、世帯数は年々増加している一方、一世帯あたりの人員は区発足当初から減少しています。

◇港南区の人口・世帯の推移



*折れ線グラフは縦軸右側、棒グラフは左側の単位で表しています。
 *1990年(平成2年)～2020年(令和2年)は国勢調査人口(10月1日現在)、
 2025年(令和7年)～2035年(令和17年)は2015年(平成27年)を基準時点とした中位推計の将来人口

(単位:人 世帯数のみ:世帯)

区分	1990年 (平成2年)	1995年 (平成7年)	2000年 (平成12年)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)
総人口	224,036	222,694	222,596	221,837	221,411	215,736	215,248	201,023	191,864	182,217
男	113,657	112,245	111,652	110,890	110,026	106,126	105,015	96,915	91,757	86,677
女	110,379	110,449	110,944	110,947	111,385	109,610	110,233	104,108	100,107	95,540
世帯数	74,731	78,838	83,375	85,377	90,108	91,007	95,526	90,406	88,552	85,528
うち単独世帯数	13,985	16,240	18,429	20,157	24,526	27,117	32,792	29,244	29,634	29,201
1世帯あたりの人数	3.00	2.82	2.67	2.60	2.46	2.37	2.25	2.22	2.17	2.13

*1990年(平成2年)～2020年(令和2年)は国勢調査人口(10月1日現在)、
 2025年(令和7年)～2035年(令和17年)は2015年(平成27年)を基準時点とした中位推計の将来人口

資料:政策局

港南区防災ライセンスリーダー連絡会 会則

(名称)

第1条 連絡会は、「港南区防災ライセンスリーダー連絡会」(以下「連絡会」という。)と称する。

(会員)

第2条 連絡会は、横浜市総務局が実施する「横浜防災ライセンス事業」において、資機材取扱指導員又は資機材取扱リーダー講習会を修了した港南区在住者のうち、次条に定める当会の目的に賛同するもの(以下、会員という。)をもって構成する。

2 会員は、当会の目的を達成するための自身の個人情報の共有について了承するものとする。

(平成 29 年一部改正)

(目的)

第3条 連絡会は、会員相互の連携・協力により、会員の資機材取扱技術の維持及び向上を図るとともに、地域防災拠点・自治会町内会をはじめとする様々な防災・減災活動に協力することにより、地域防災力の向上に寄与することを目的とする。

(平成 29 年一部改正)

(活動)

第4条 連絡会は、前条に定める目的を達成するため、次の活動を行う。

(1) 会員相互の知識と技術の向上

(2) 地域防災拠点・自治会町内会をはじめとする地域との連携、防災・減災活動への協力及び支援

(3) 防災に関する知識、技術の向上を図るための研修会等の開催

(4) ライセンスリーダー増員のための啓発活動

(5) その他、連絡会の目的達成のために必要な活動

(入会)

第5条 会員として入会及び再入会しようとする者は、会長へ入会届を提出する。

(令和 5 年追加)

(退会)

第6条 会員は退会しようとするときは、会長へ退会届を提出する。

2 会員が次のいずれかの号に該当する場合は、退会として取り扱う。

(1) 港南区内に居住しなくなったとき

(2) その他会長が必要と認める場合

(令和 5 年一部改正)

(役員及び顧問)

第7条 連絡会に次の役員及び顧問を置く。

(1) 会 長 1名

(2) 副会長 2名

(3) 幹 事 若干名

(4) 相談役 若干名

(5) 顧問 若干名

- 2 会長は、会員の互選によって定める。副会長、幹事及び相談役は、会長が指名する。
- 3 役員任期は2年とする。ただし、任期終了後も後任者が決定するまで引き続き在任するものとし、再任を妨げない。
- 4 任期途中で役員が欠けたときは、会長が指名した会員がその職務を務める。
- 5 前項の規定により就任した役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 顧問は港南区地域防災拠点運営委員会連絡協議会から選出する。

(令和5年一部改正)

(役員の仕事)

第8条 会長は連絡会を統括し、会議の議長となる。

- 2 副会長は会長を補佐し、活動計画の企画立案及び実施報告書の作成を行なう。
- 3 幹事は副会長を補佐し、活動計画の企画立案の作成を補助し実施に当たる。
- 4 相談役及び顧問は、必要に応じて活動計画の企画立案及び活動報告の助言を行う。

(令和5年一部改正)

(班)

第9条 会員は居住する地域防災拠点を単位とした班に所属する。

(令和5年追加)

(連絡員)

第10条 連絡員は地域防災拠点運営委員会と班員を繋げる役目を担う。

- (1) 地域防災拠点運営委員会に参加する
 - (2) 班員への連絡窓口を担う
 - (3) 連絡員会にて拠点の活動報告を行う
- 2 連絡員は班員の互選によって定める。
 - 3 連絡員任期は2年とする。ただし、任期終了後も後任者が決定するまで引き続き在任するものとし、再任を妨げない。

(令和5年一部改正)

(会議)

第11条 連絡会の会議は、総会、役員会、その他必要な会議とする。

- 2 総会は、会員をもって組織し、毎年度開催するものとする。ただし、必要な場合は、役員会の議決を経て臨時総会を開催することができる。
- 3 役員会、その他必要な会議は、随時開催することができる。

(平成27年一部改正)

(総会)

第12条 連絡会の運営方針等の重要事項は、総会において決定する。

- 2 総会及び臨時総会は、会長がこれを招集する。
- 3 総会及び臨時総会の議事は、郵送等での事前票を有効票として取り扱い、郵送等での事前票数及び出席会員数の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長の決するものとする。

(役員会)

第13条 前条に該当しない事項は、役員会において決定する。

- 2 役員会は、会長が招集する。
- 3 役員会の議事は出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長が決するものとする。
(平成 27 年一部改正)

(個人情報)

- 第14条 第2条第2項に定める個人情報とは、会員の氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスとし、連絡会の目的の達成にのみ使用するものとする。
- 2 入手した個人情報は会員の責任をもって適切に管理する。
(令和 5 年一部改正)

(名簿)

- 第15条 連絡会は、前条に定める個人情報と、会員が所属する地域防災拠点の名称等を集約した名簿(以下「会員名簿」という。)を作成する。
- 2 会員名簿は、必要に応じて加工し、各種名簿を作成することができる。
 - 3 各種名簿は、発災時には全会員に公開可能とするが、平時の提供範囲は使用目的と個人情報への配慮を鑑みて次のとおりとする。
 - (1) 役員……全ての会員名簿、役員・連絡員一覧
 - (2) 連絡員…班内の会員名簿、役員・連絡員一覧
 - (3) 班員……班内の会員名簿、役員・連絡員一覧
 - 4 会員は名簿の最新版を入手したときは、第14条2項に基づき、それまでの名簿を廃棄する。
 - 5 会員は第6条の理由により連絡会を退会したときは、第14条2項に基づき、名簿を廃棄する。
(令和 5 年一部改正)

(事務局)

- 第16条 連絡会の活動を支援するため、港南区総務課に港南区防災ライセンスリーダー連絡会事務局を置く。

(事業年度)

- 第17条 連絡会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。ただし、設立初年度については、設立の日から翌年3月31日までとする。

(委任)

- 第18条 この会則に定めのない事項は、役員会において別途定める。
(平成 27 年一部改正)

(附則)

- この会則は、平成 26 年 1 月 31 日から施行する。
この会則は、平成 27 年 6 月 24 日から施行する。
この会則は、平成 29 年 6 月 07 日から施行する。
この会則は、令和 03 年 6 月 30 日から施行する。
この会則は、令和 05 年 6 月 08 日から施行する。

港南区防災ライセンスリーダーの手引書
2020年(令和2年) 3月 初版発行
2023年(令和5年) 6月 改訂版
港南区防災ライセンスリーダー連絡会